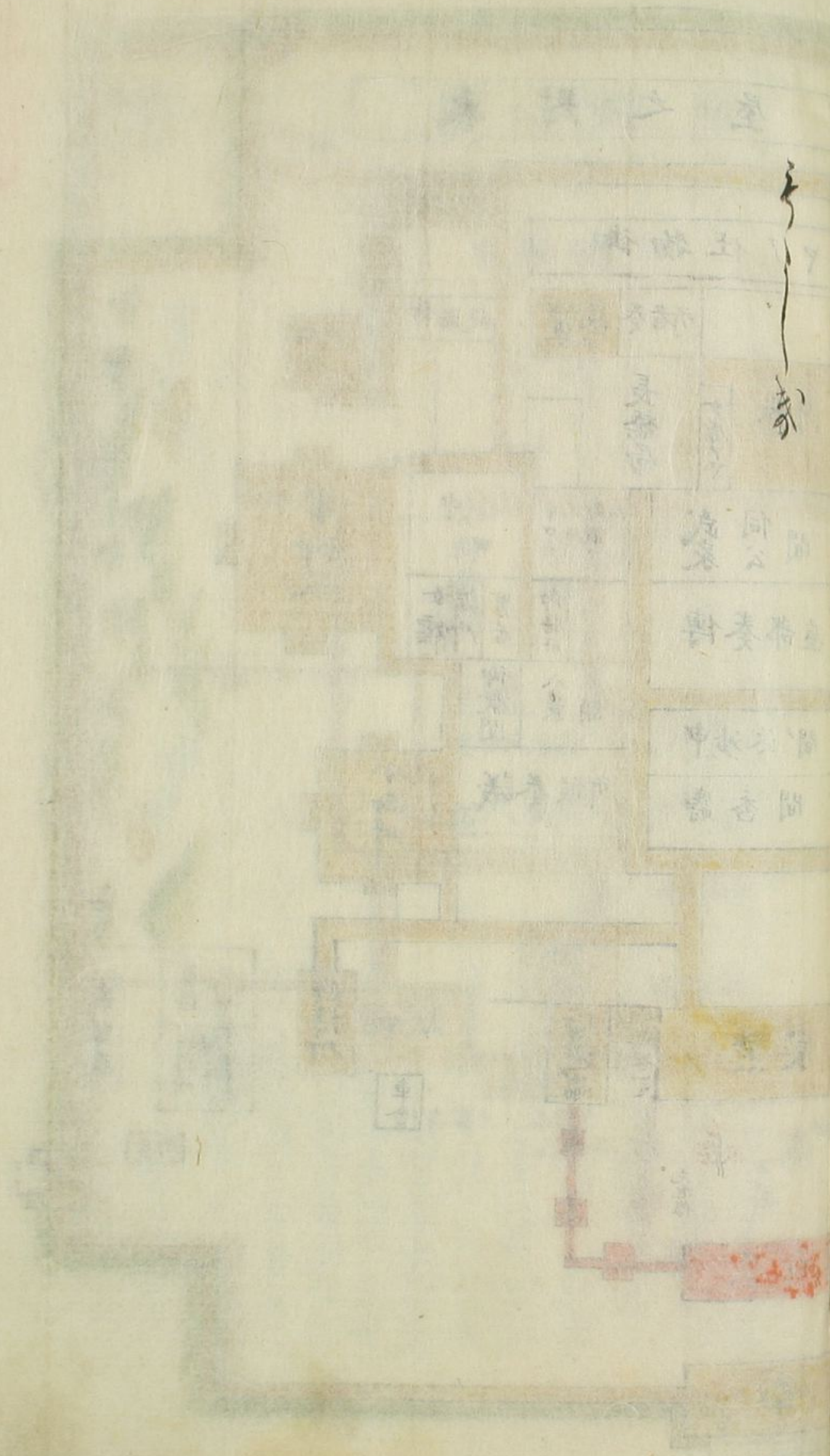




百磯城
全

73
6785

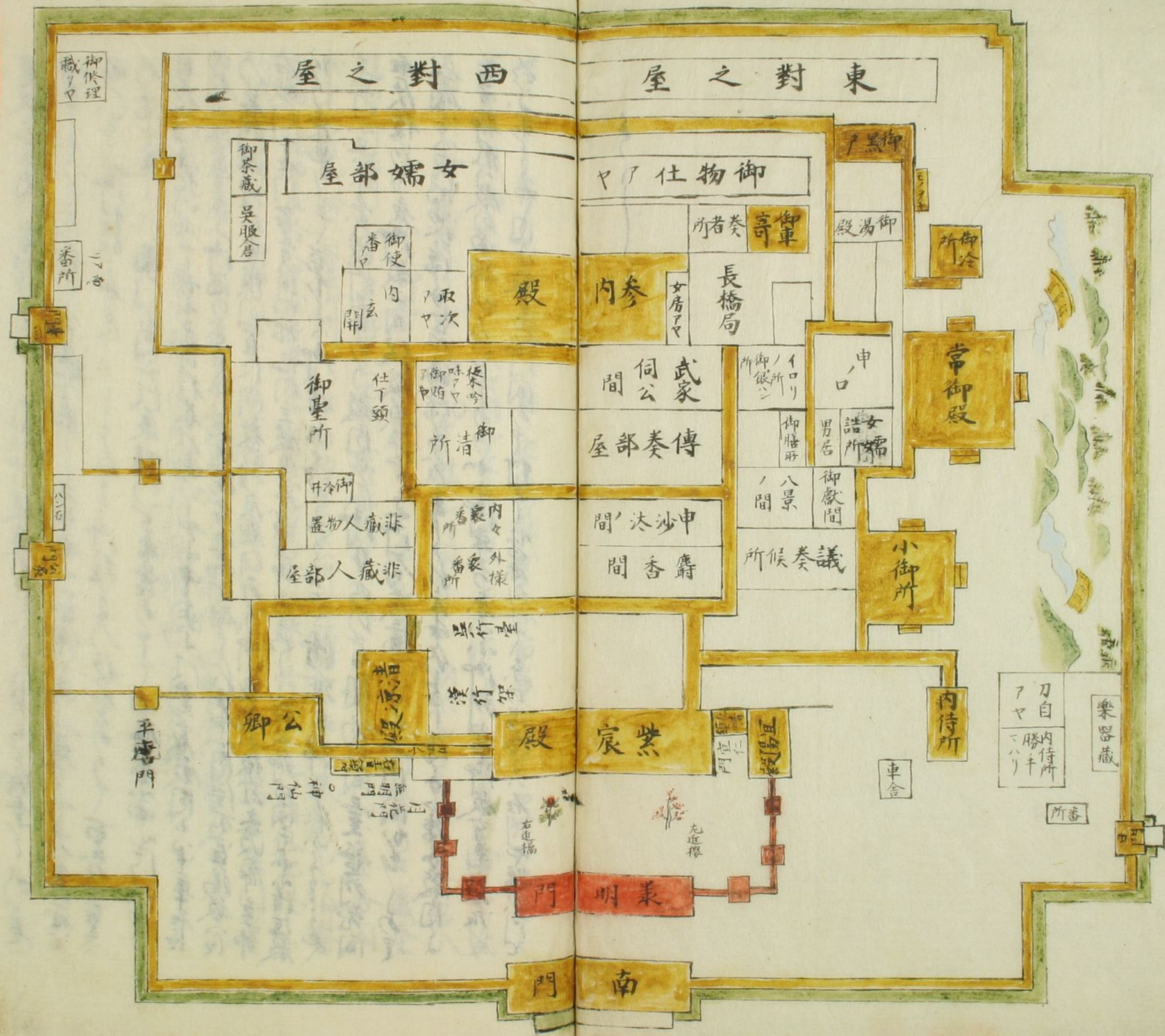




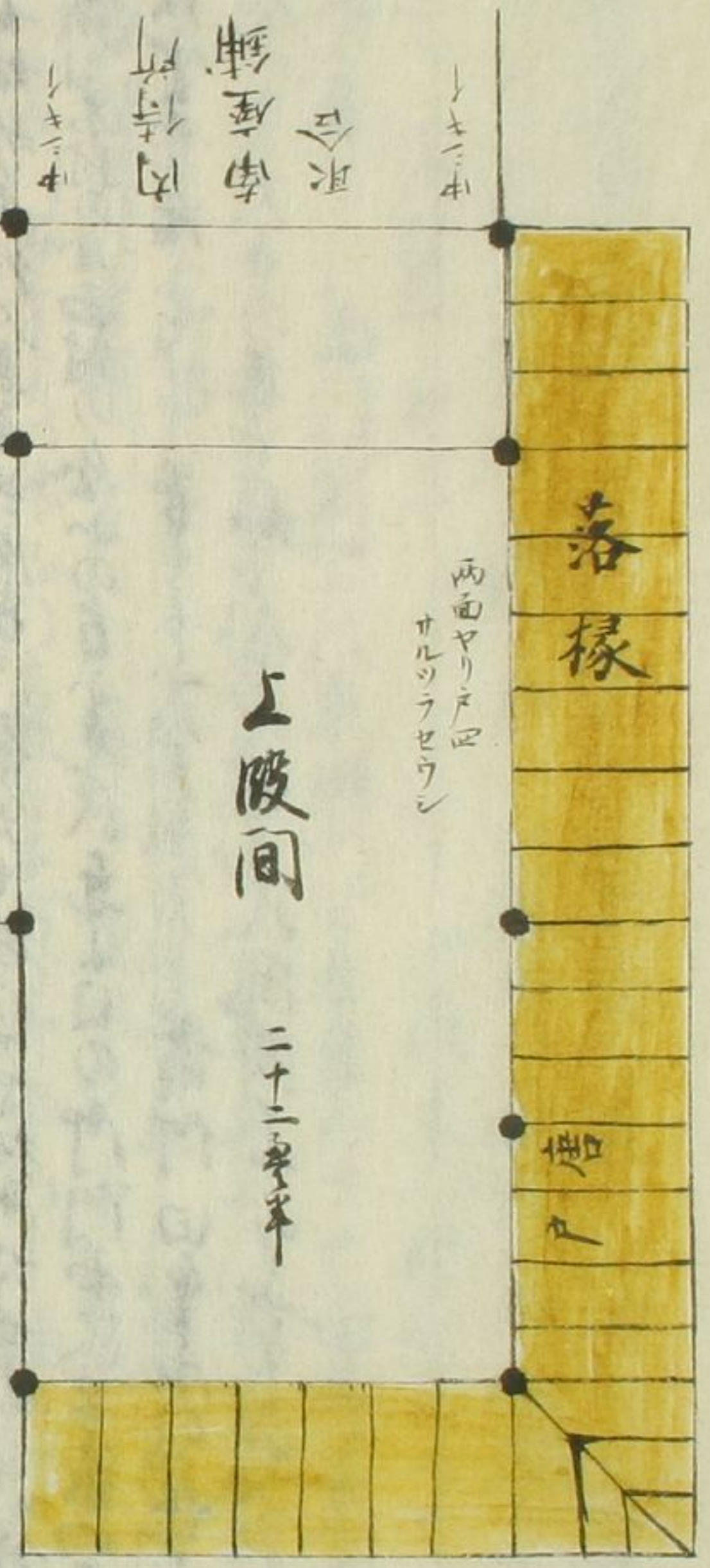
Handwritten vertical text in black ink, possibly a page number or a reference mark.

門カ3
 6785
 卷

39-8296



内侍所



東合
南座
内侍所
ハメ

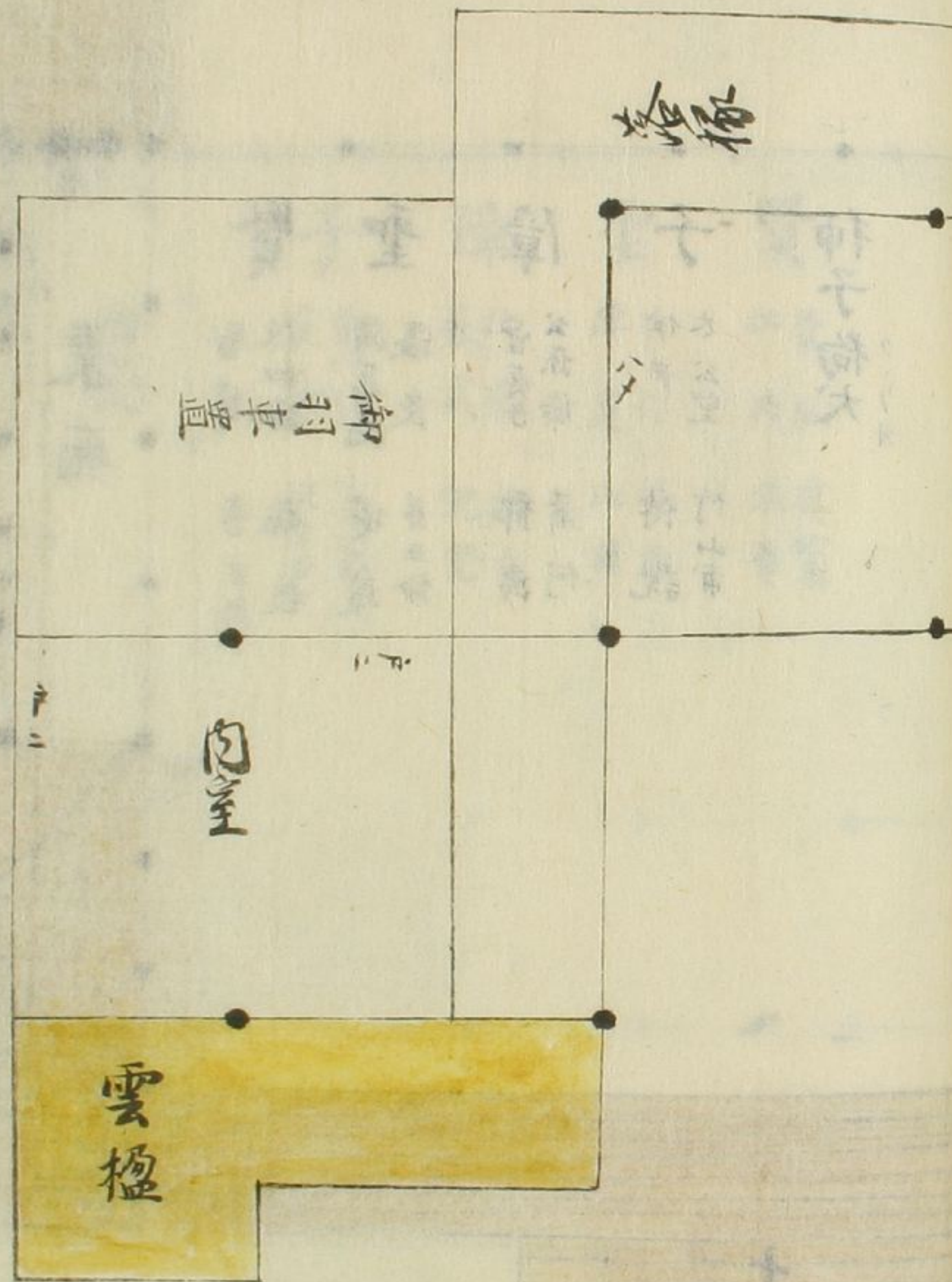
西面ヤリ戸
ハルツラゼウシ

上殿間

二十二畳半

西面ヤリ戸

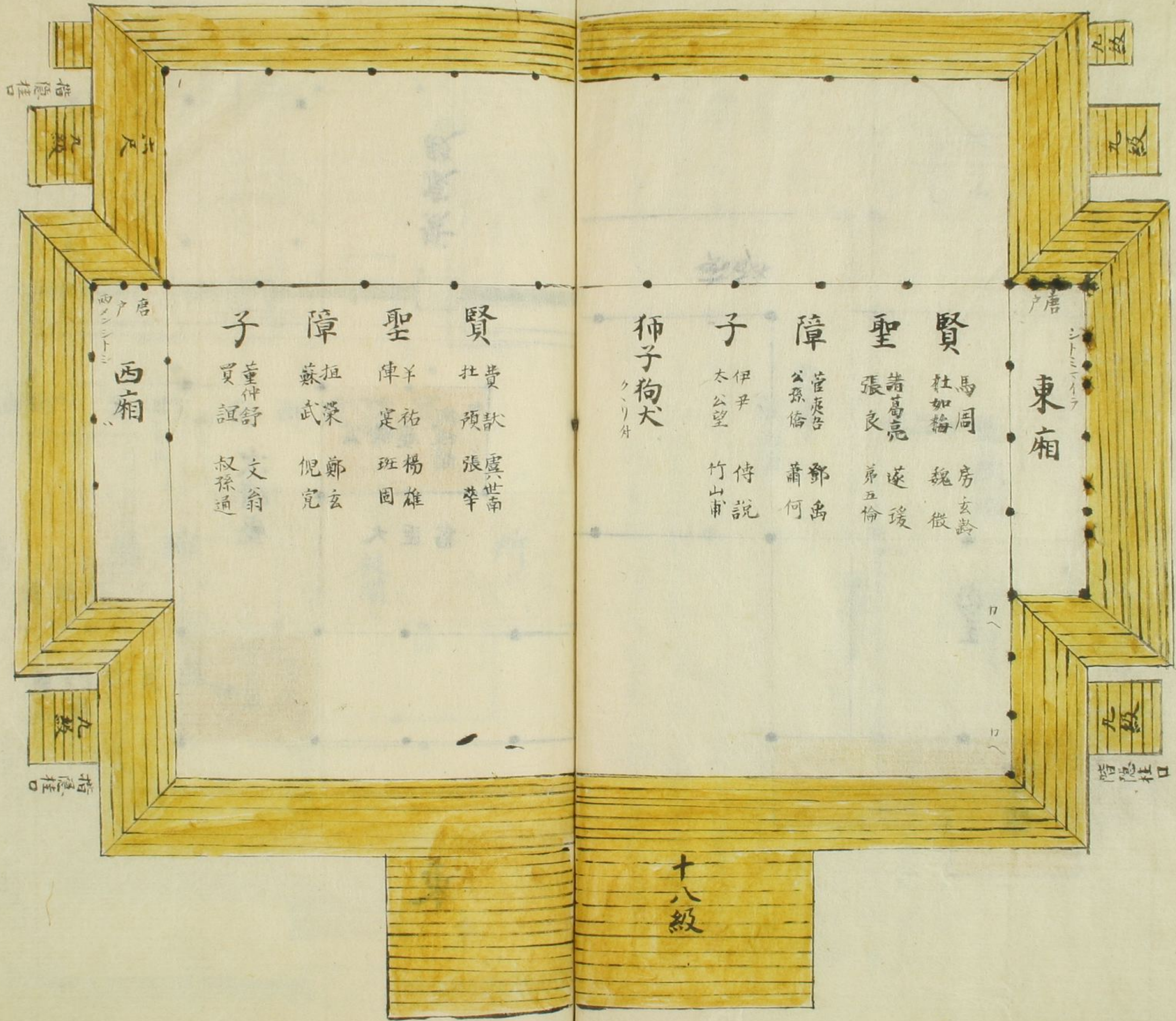
内陣
拭板敷

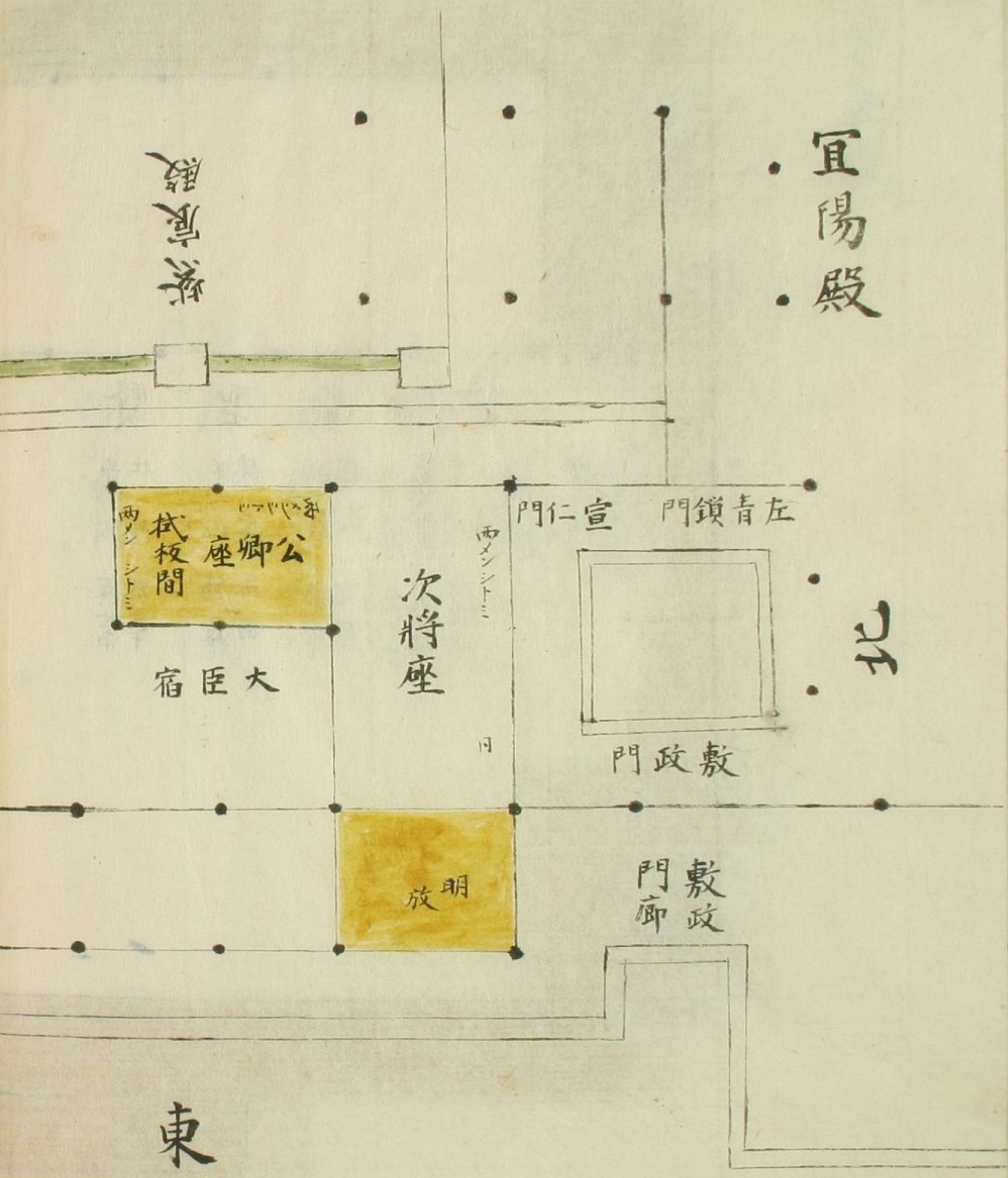
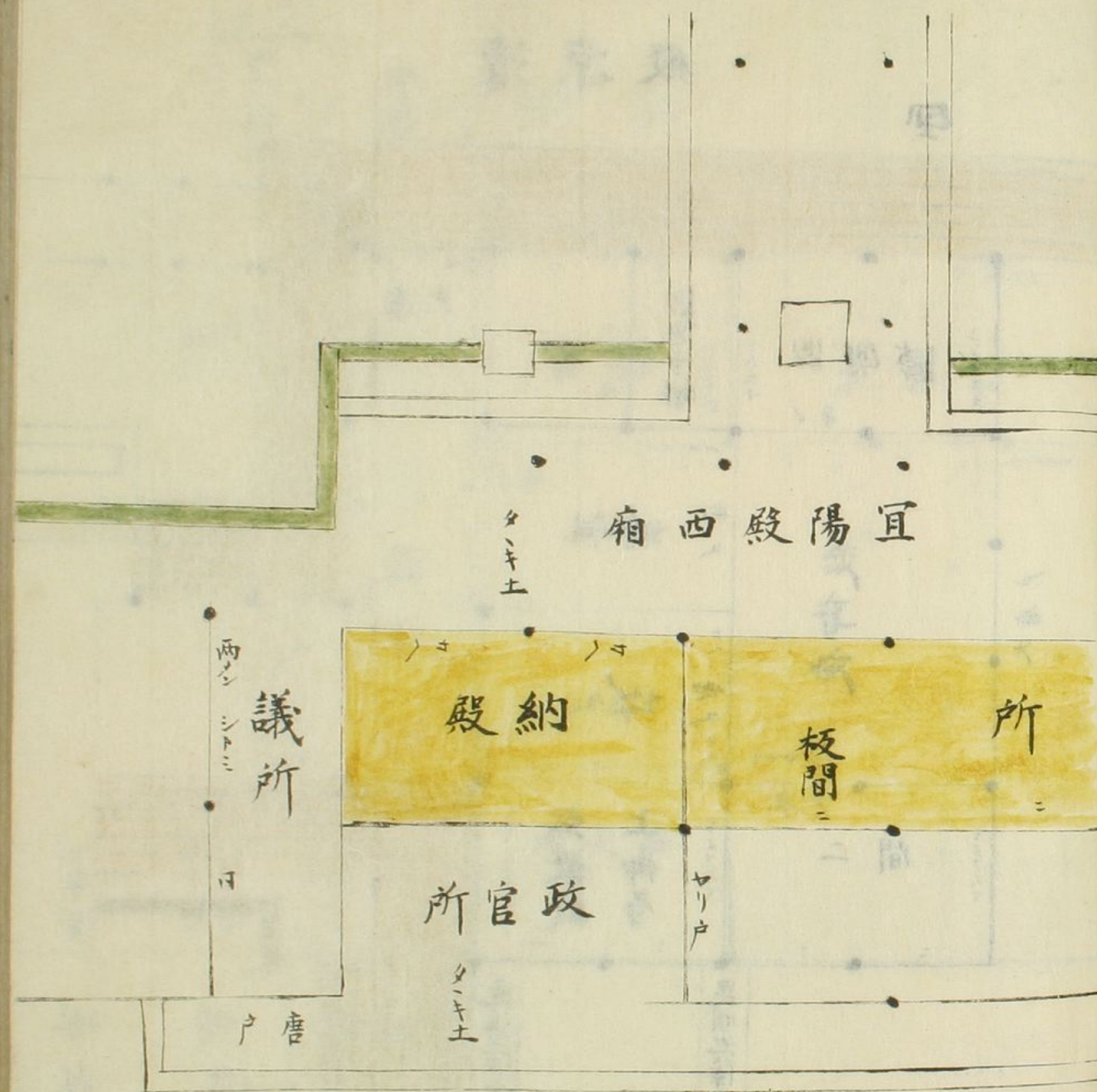


廊下

中ノキイ戸ニ
モウレ一

紫宸殿



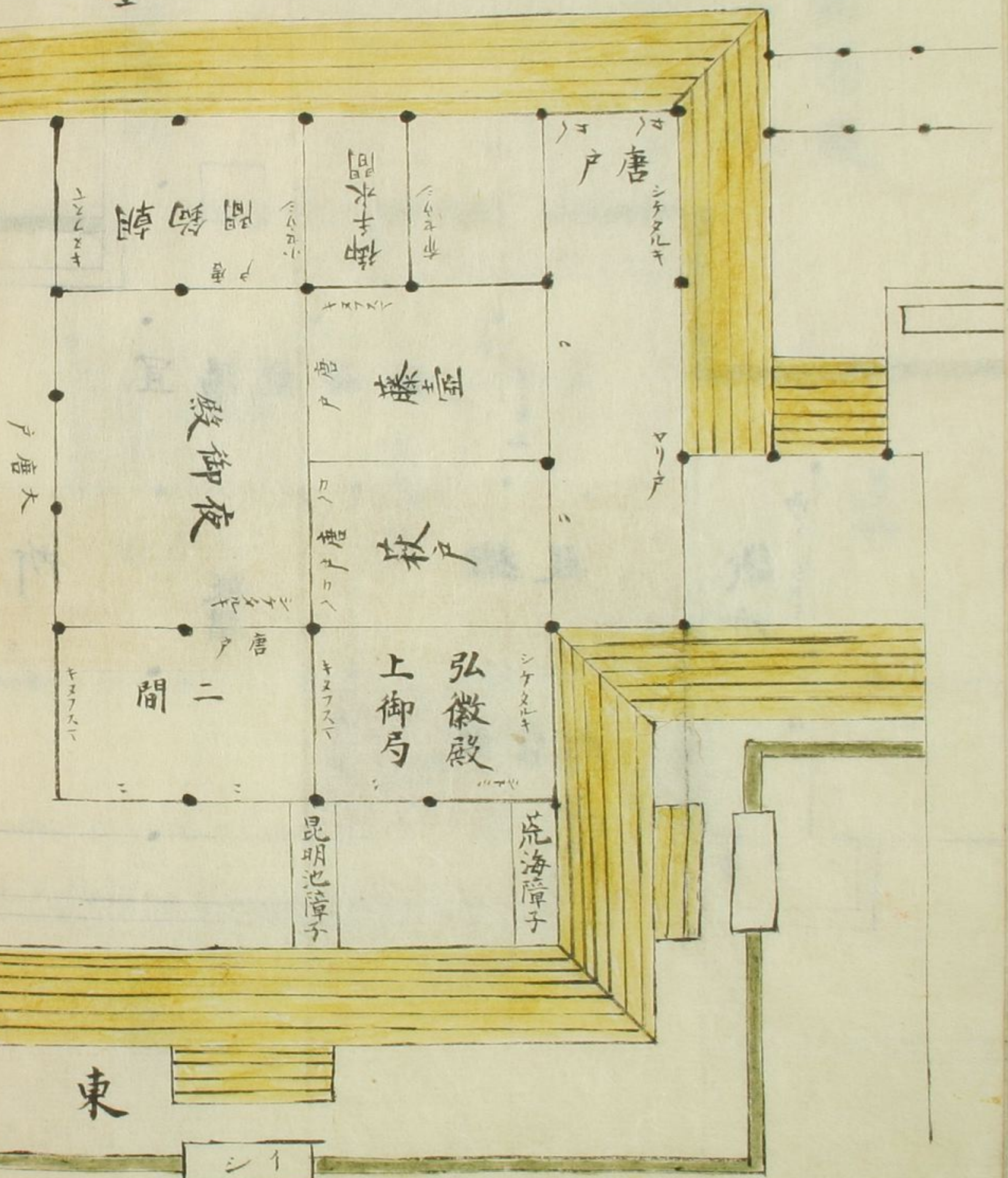


東

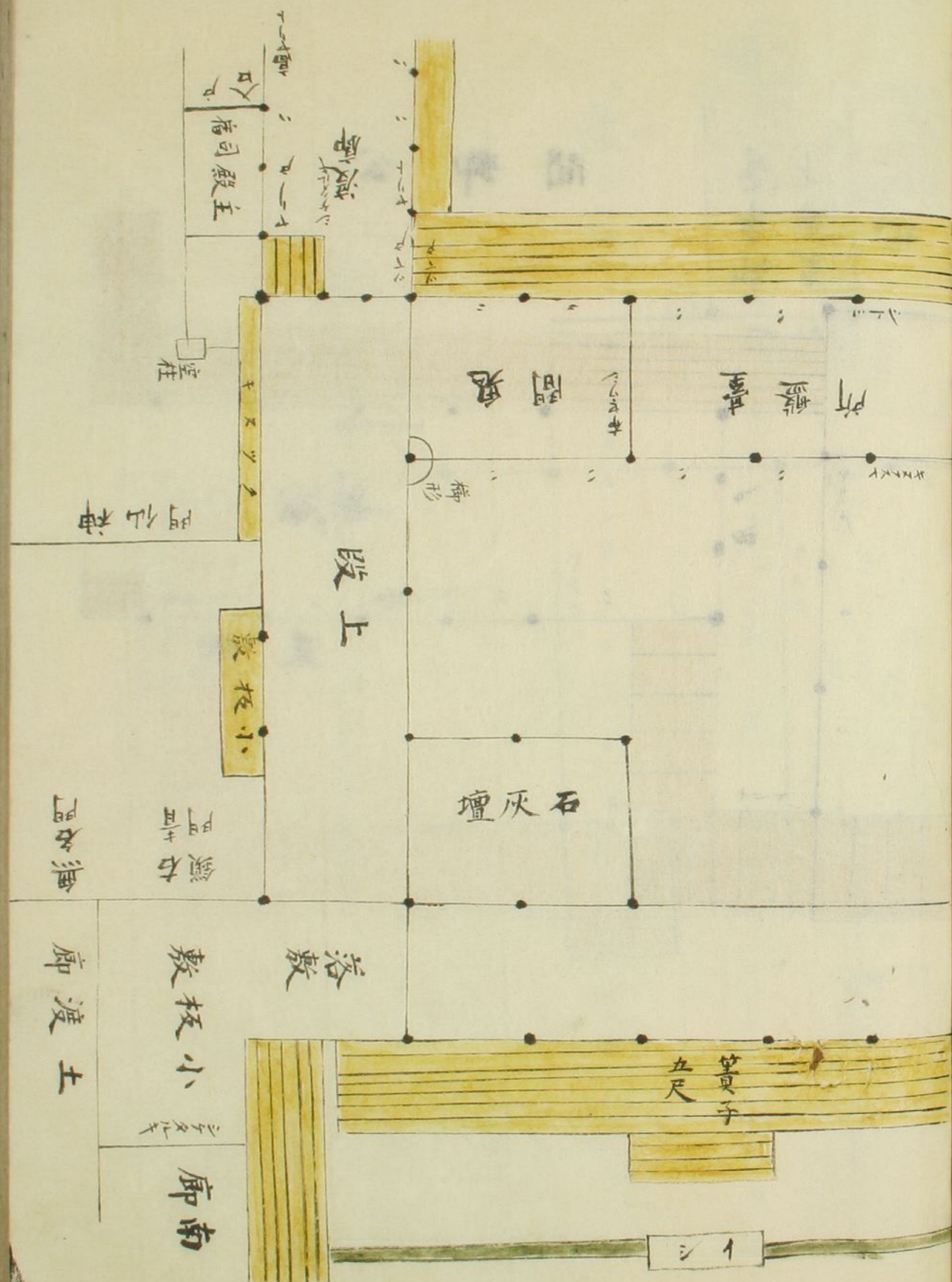
東

清涼殿

西



東



廊南

廊渡土

敷板小

鏡右

間

敷板小

殿上

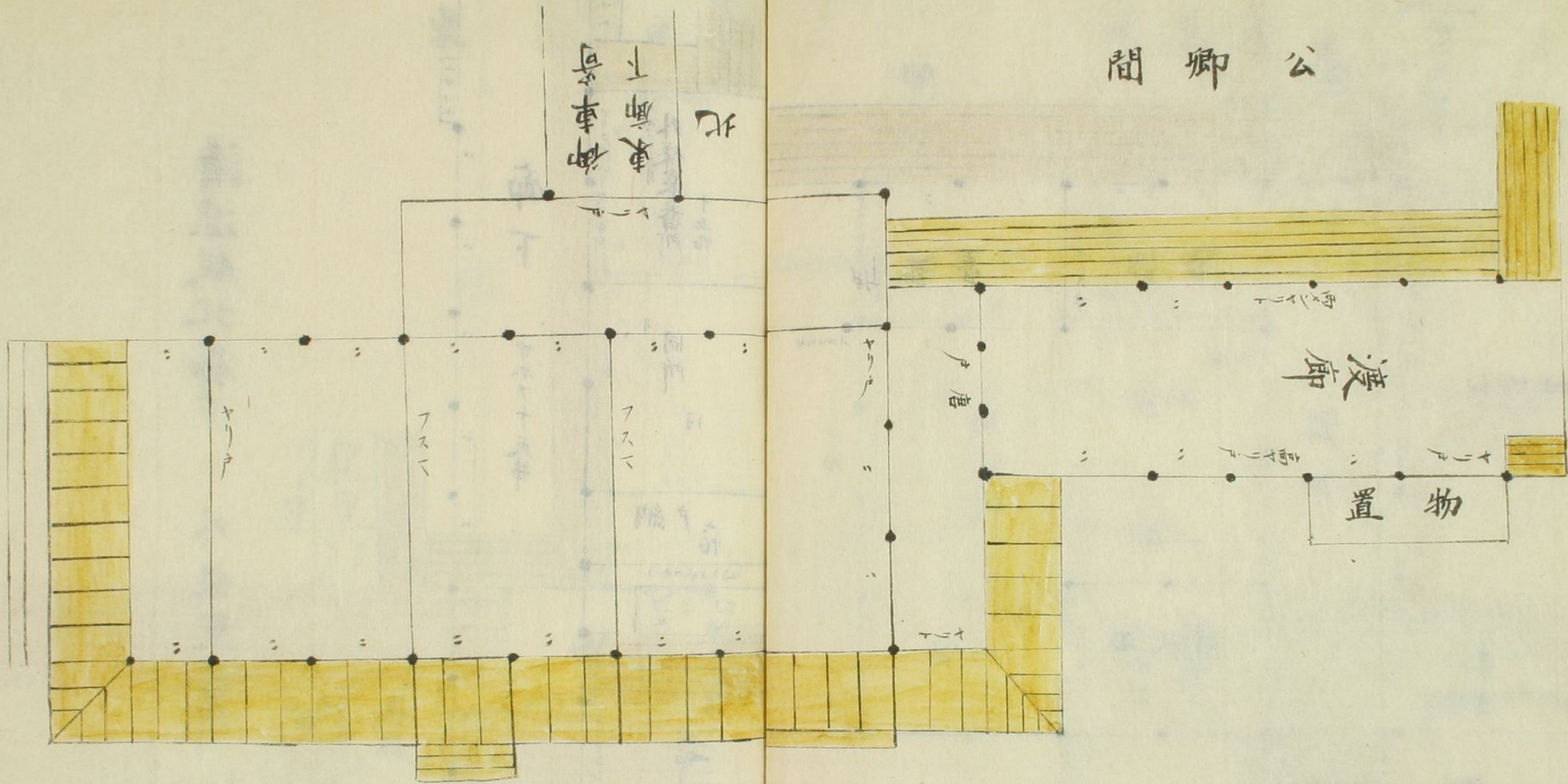
間仙神

室柱

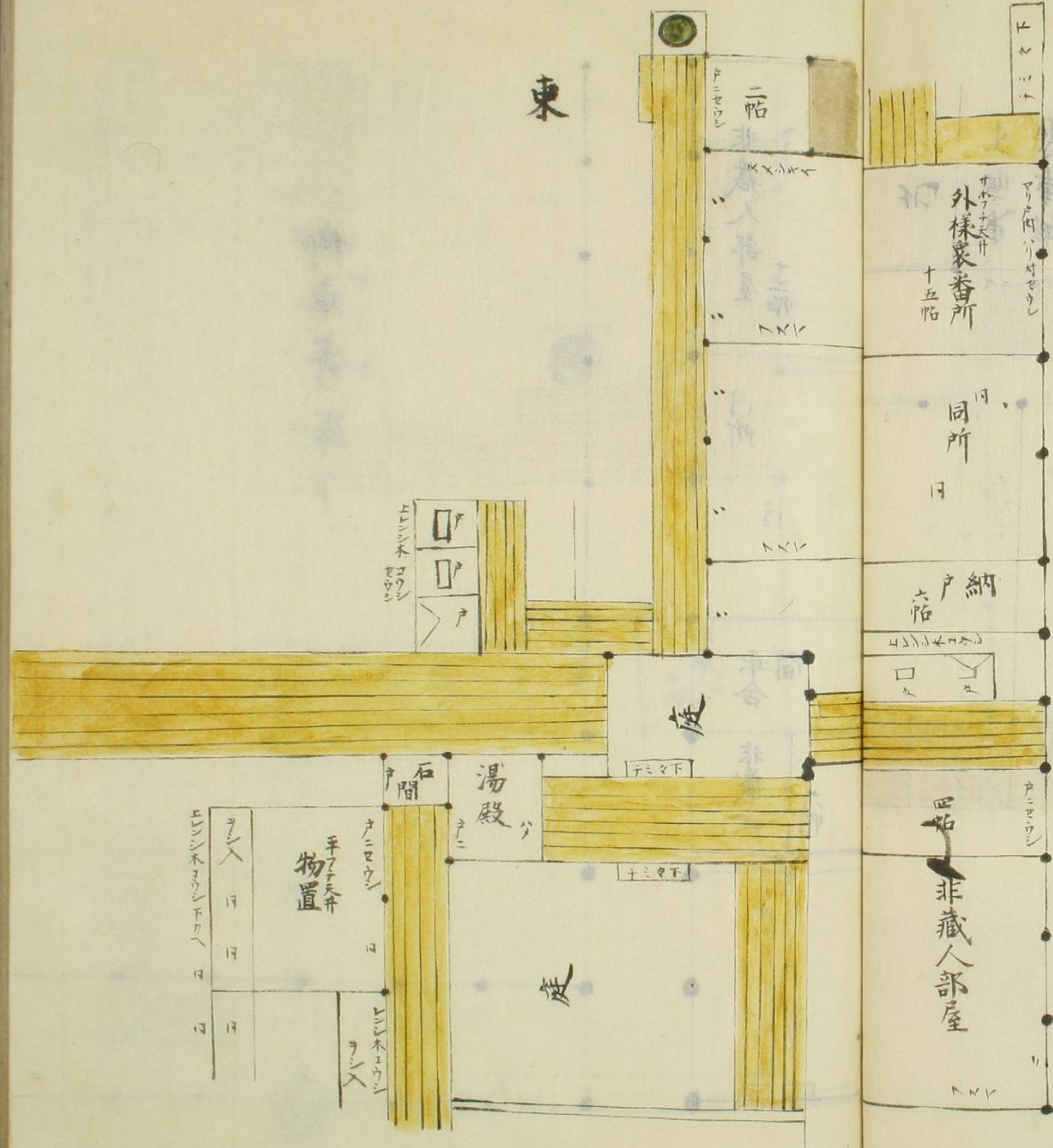
司殿主

御

公卿間



東

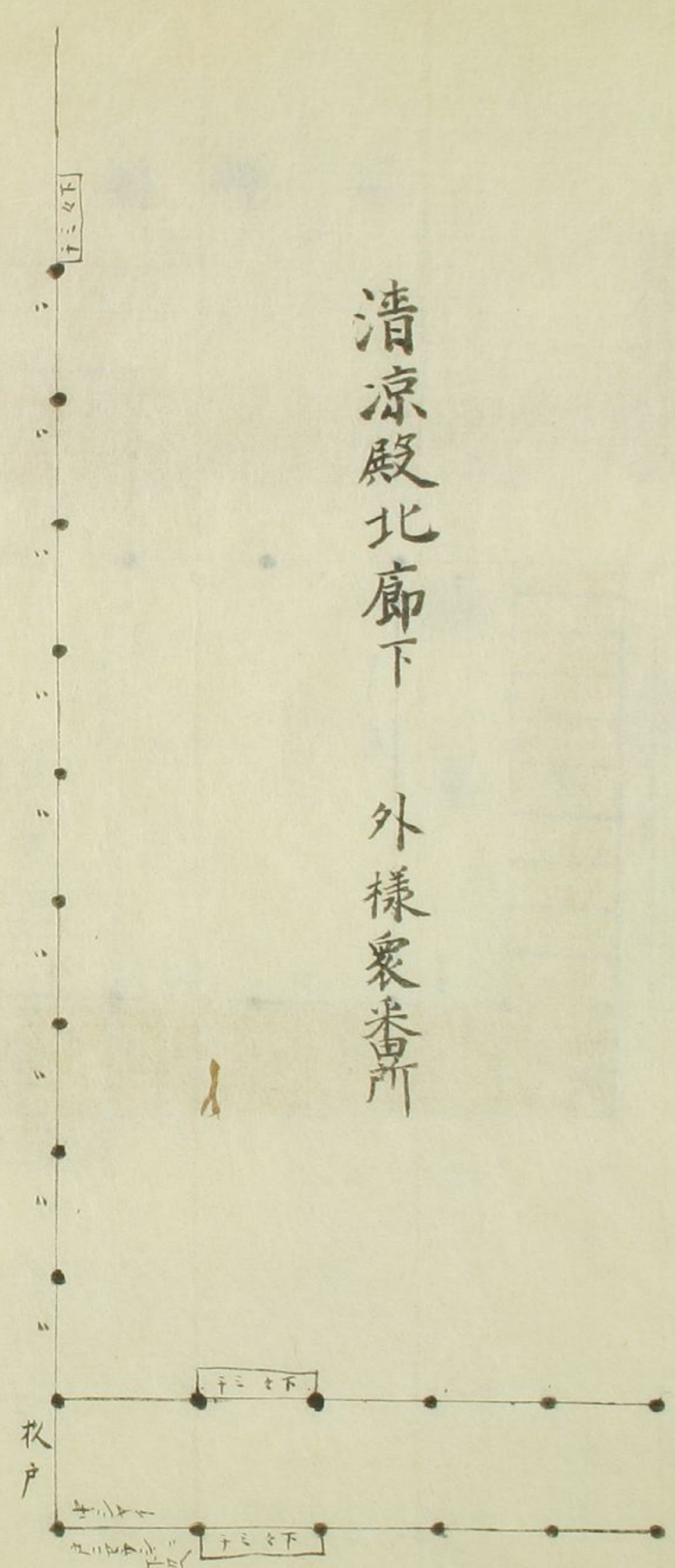


廊下

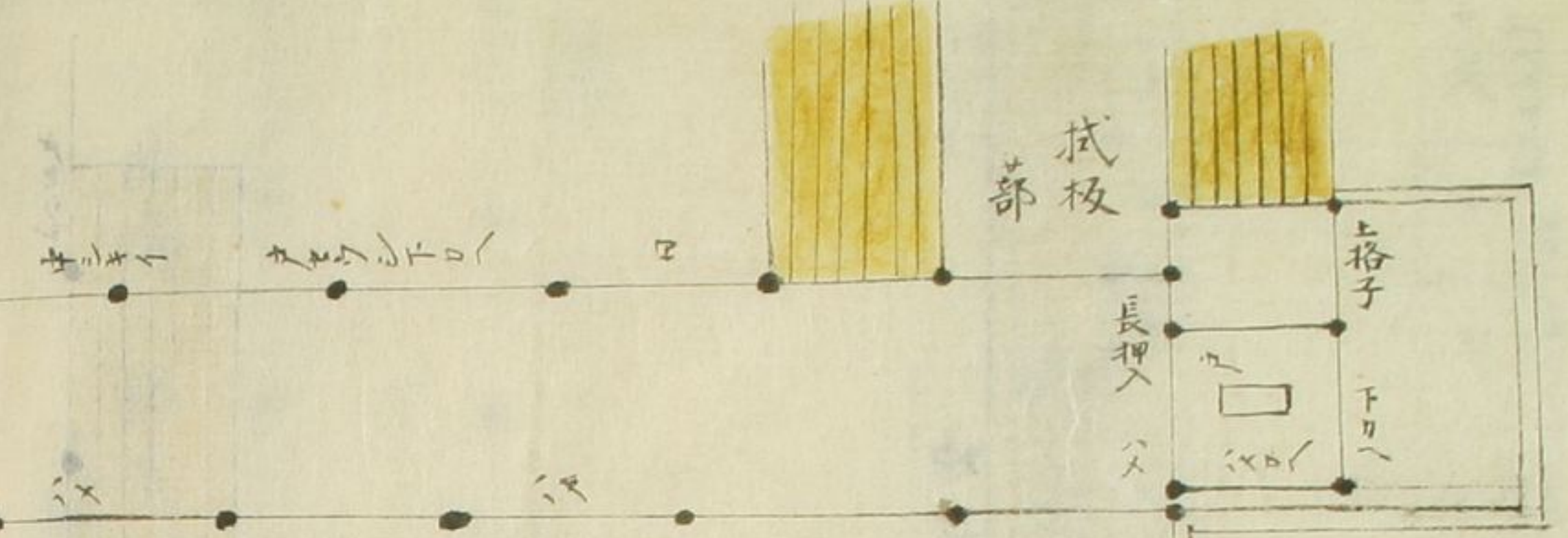
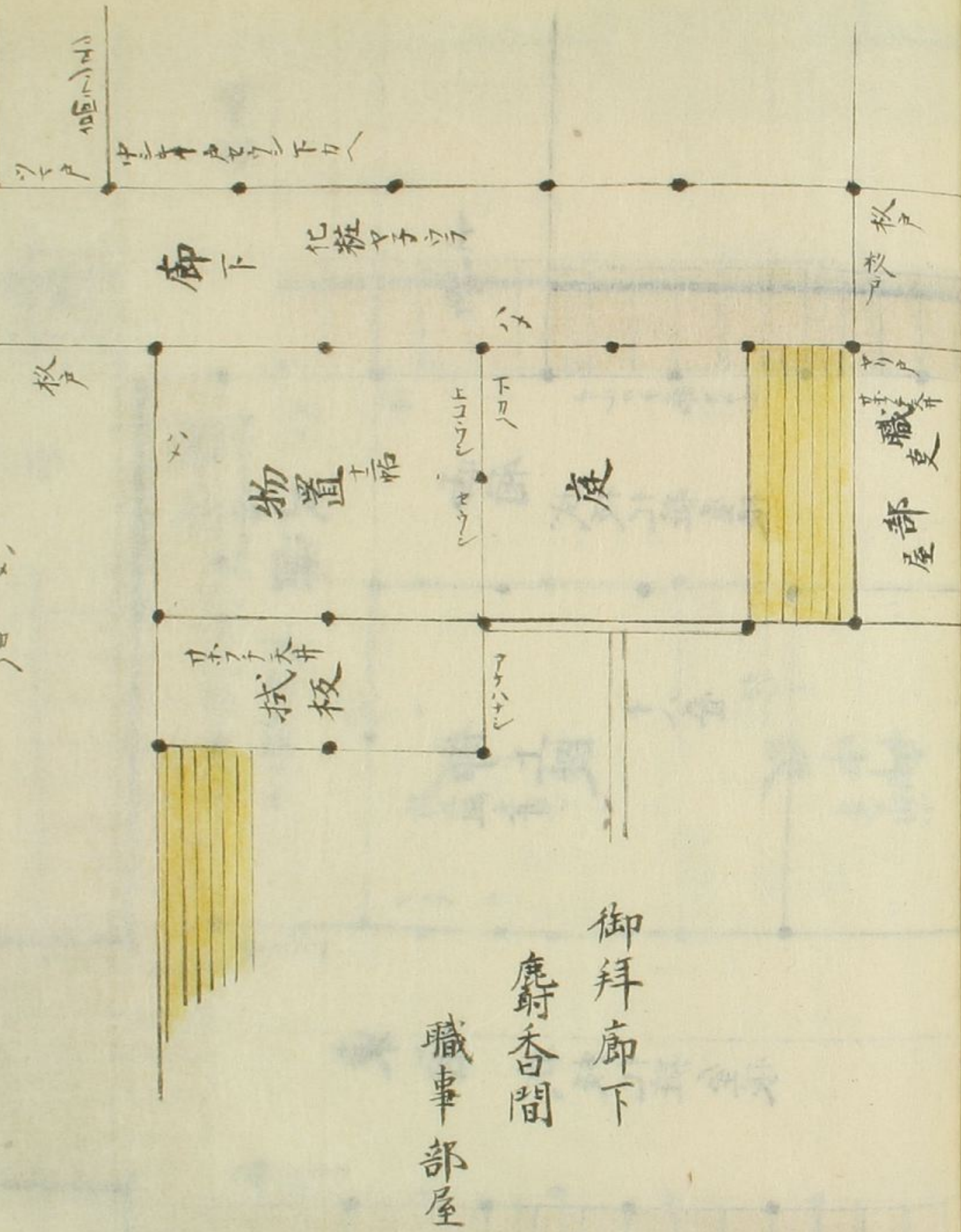
サホア十天井

清涼殿北廊下

外様裏番所



六段



内々衆番所

西

小御所

廊下

物置

北廂
拭板化粧
カルクラセ

拭板化粧

廊下

カルクラセ

西廂
拭板化粧
カルクラセ

十八畳

御上段
折上組天井

東廂
拭板化粧
カルクラセ

カルクラセ

御中段
組天井

十六畳

御下段
日弁井

十畳

南廂

拭板化粧
カルクラセ

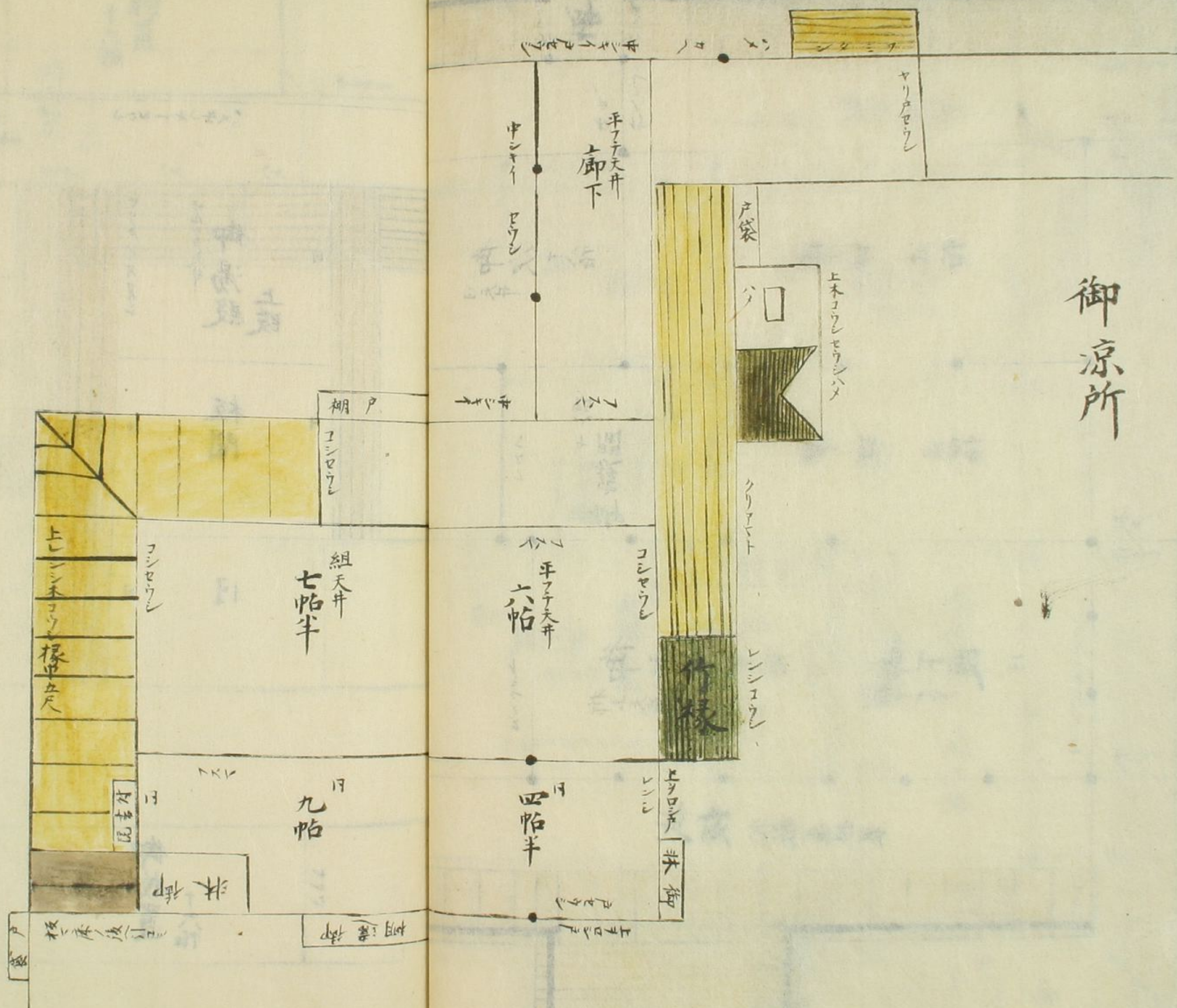
廊下

カルクラセ

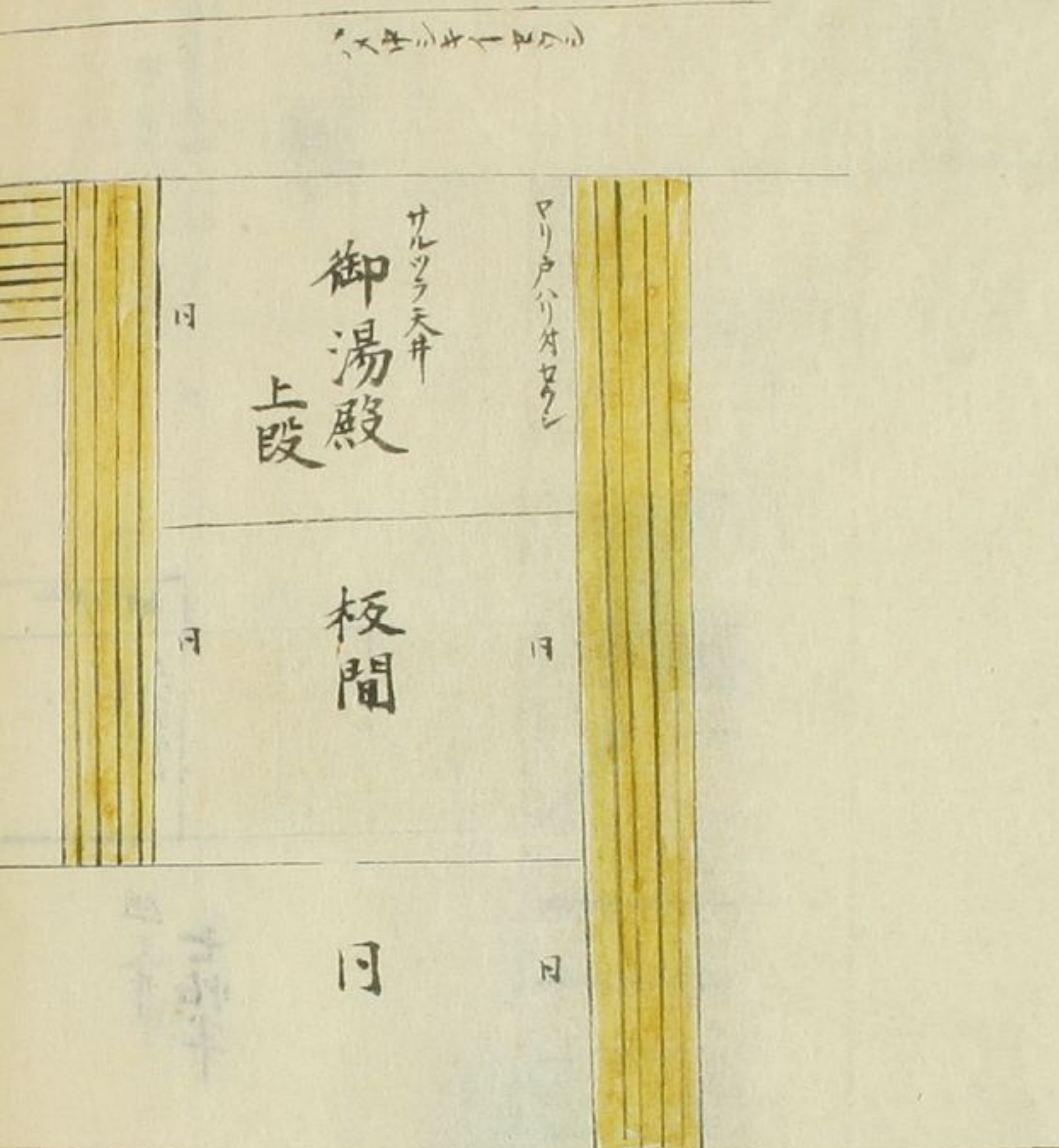
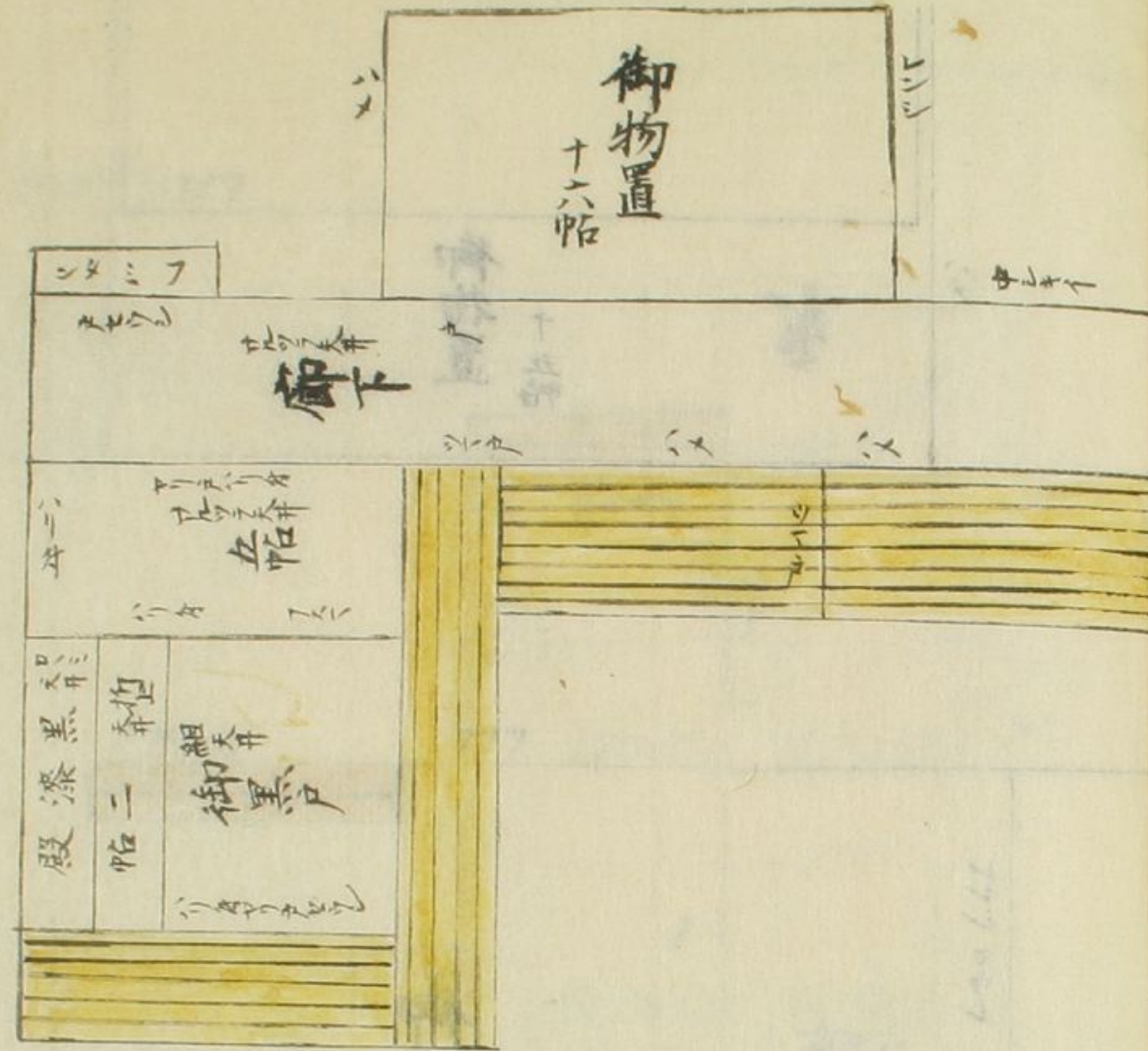
カルクラセ

カルクラセ

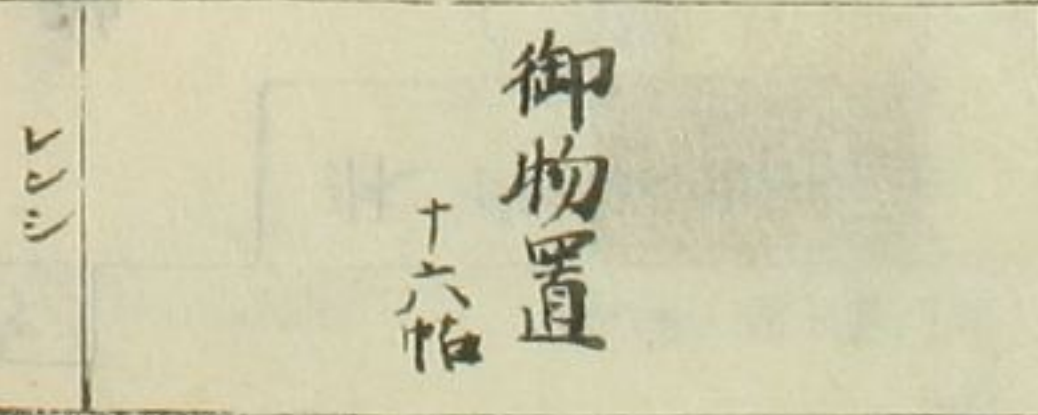
御涼所

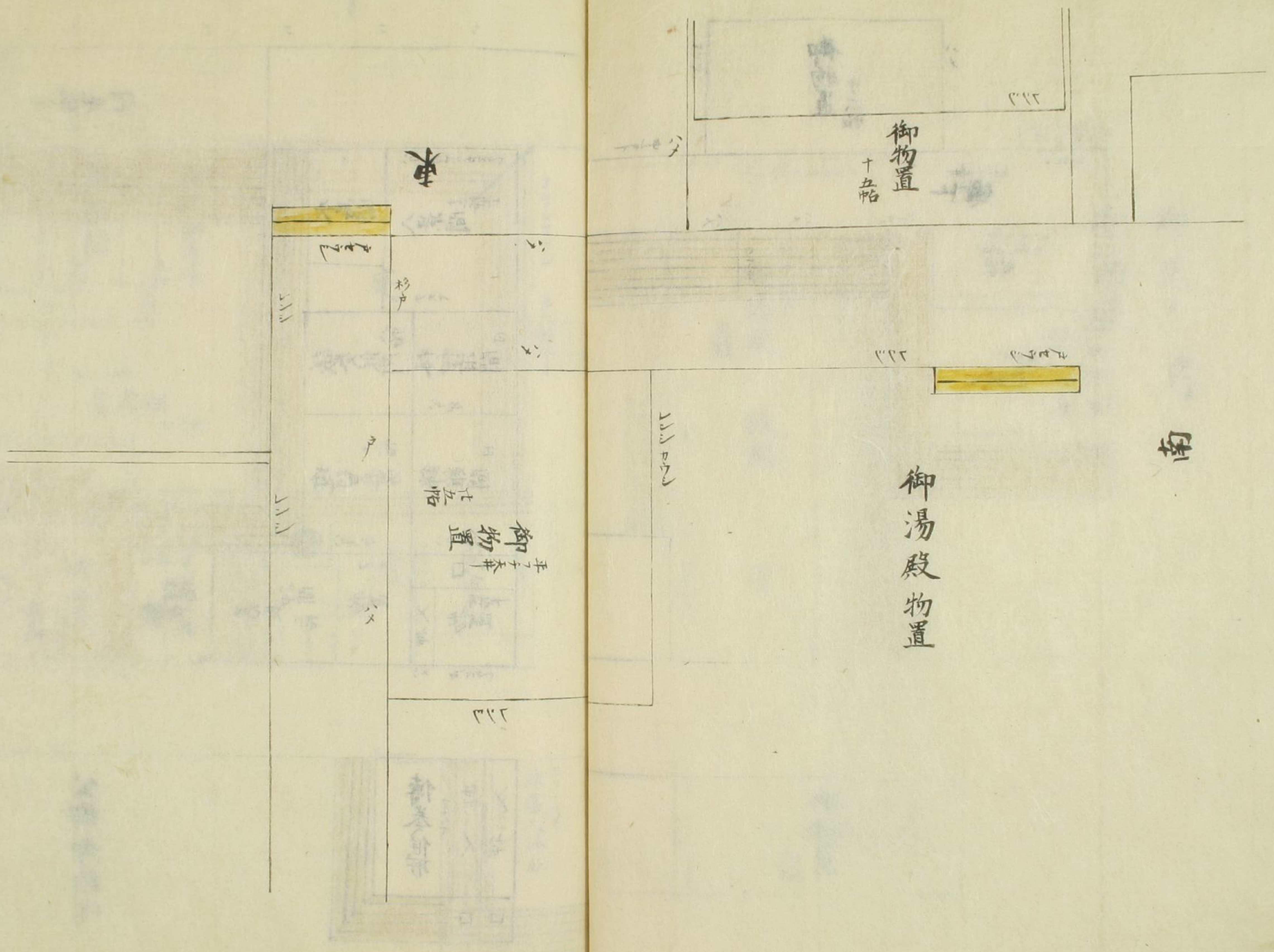


北



御黒戸
御湯殿





東

御物置
十五帖

南

御湯殿物置

御物置
平子奉

十五帖

二二二

二二二

二二二

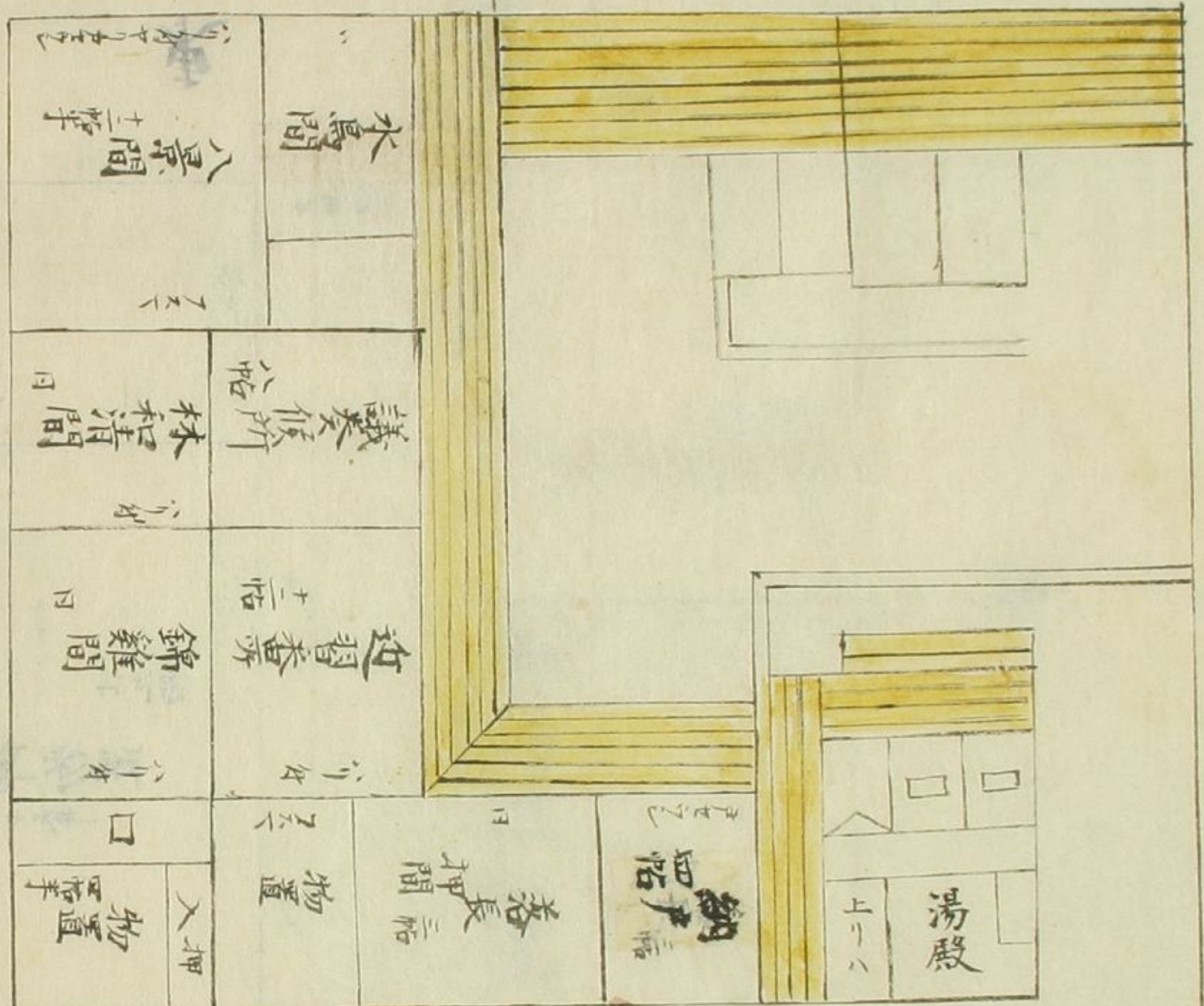
二二二

二二二

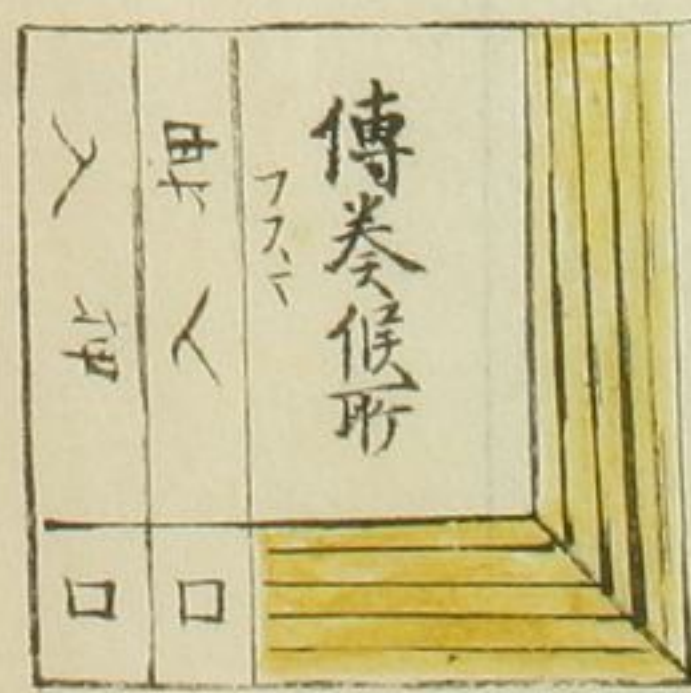
二二二

二二二

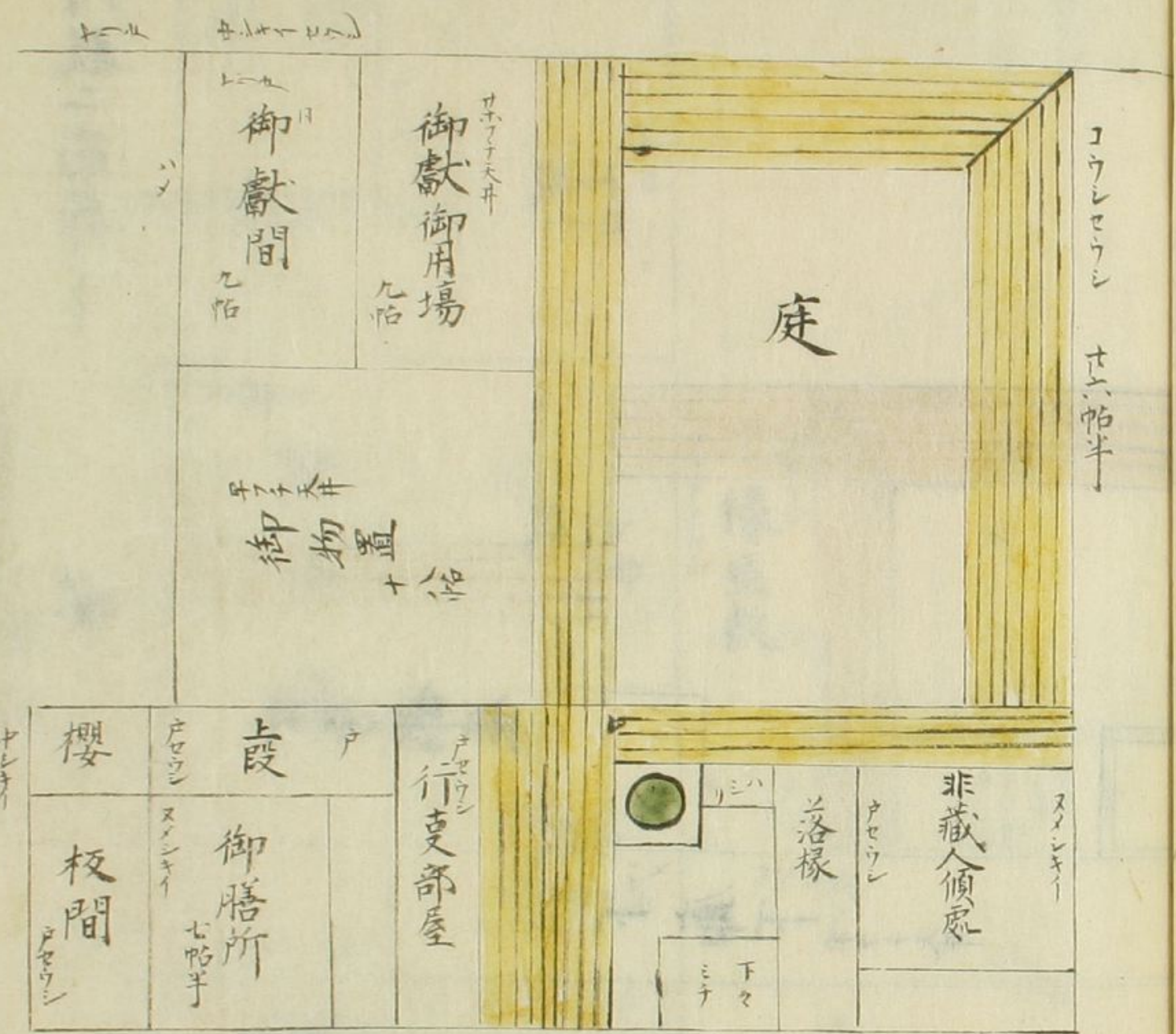
内屋根



公卿御詰廻



コウレロウシ 二六帖半



平アテ天井 非藏人休處



参内殿二筋廊下

東

女房部屋

下廊下
平ラキ奉

上廊下
サナキ奉

サキナセ
中ニキ

南

下段
接加

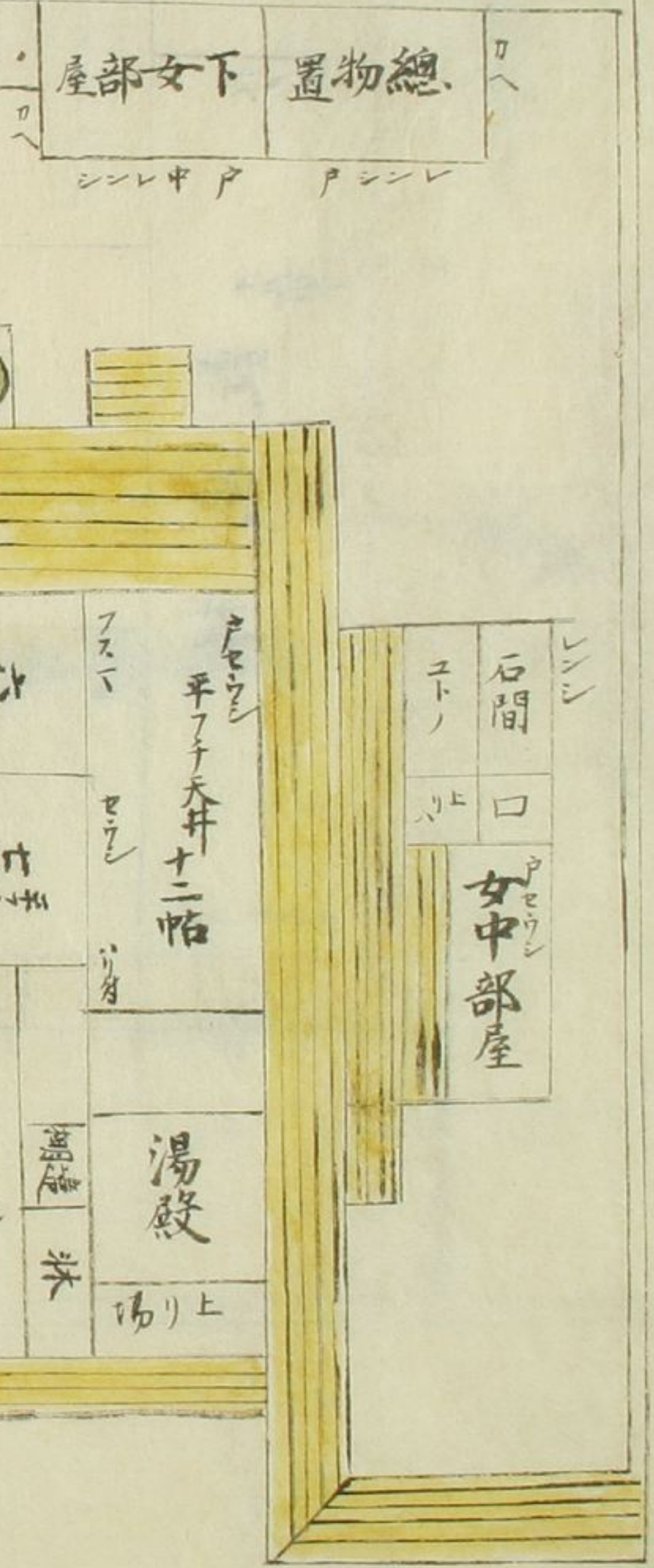
椽座敷
中段
接天

上段
折上奉

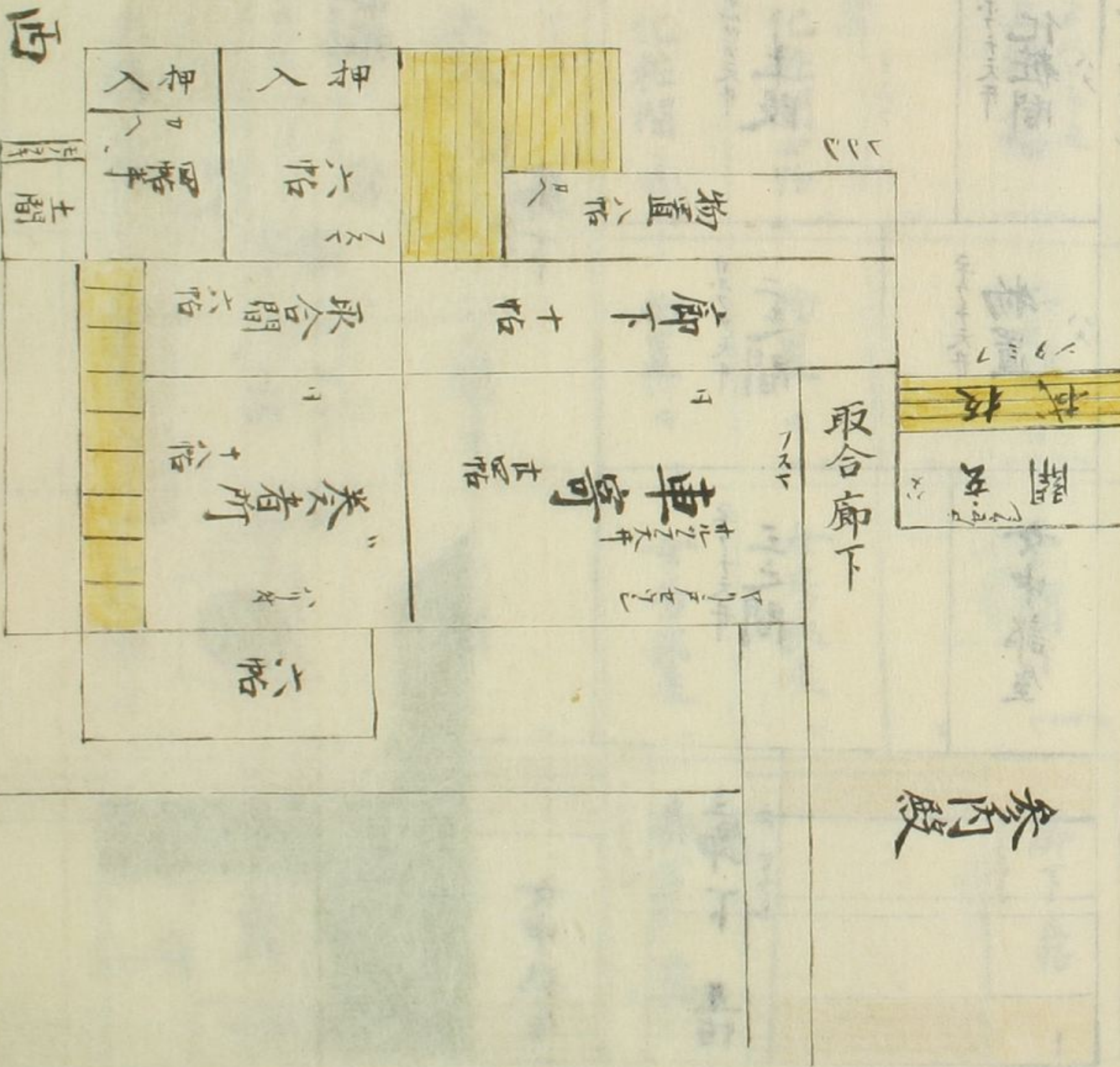
椽座敷
十座

石間

長橋弓



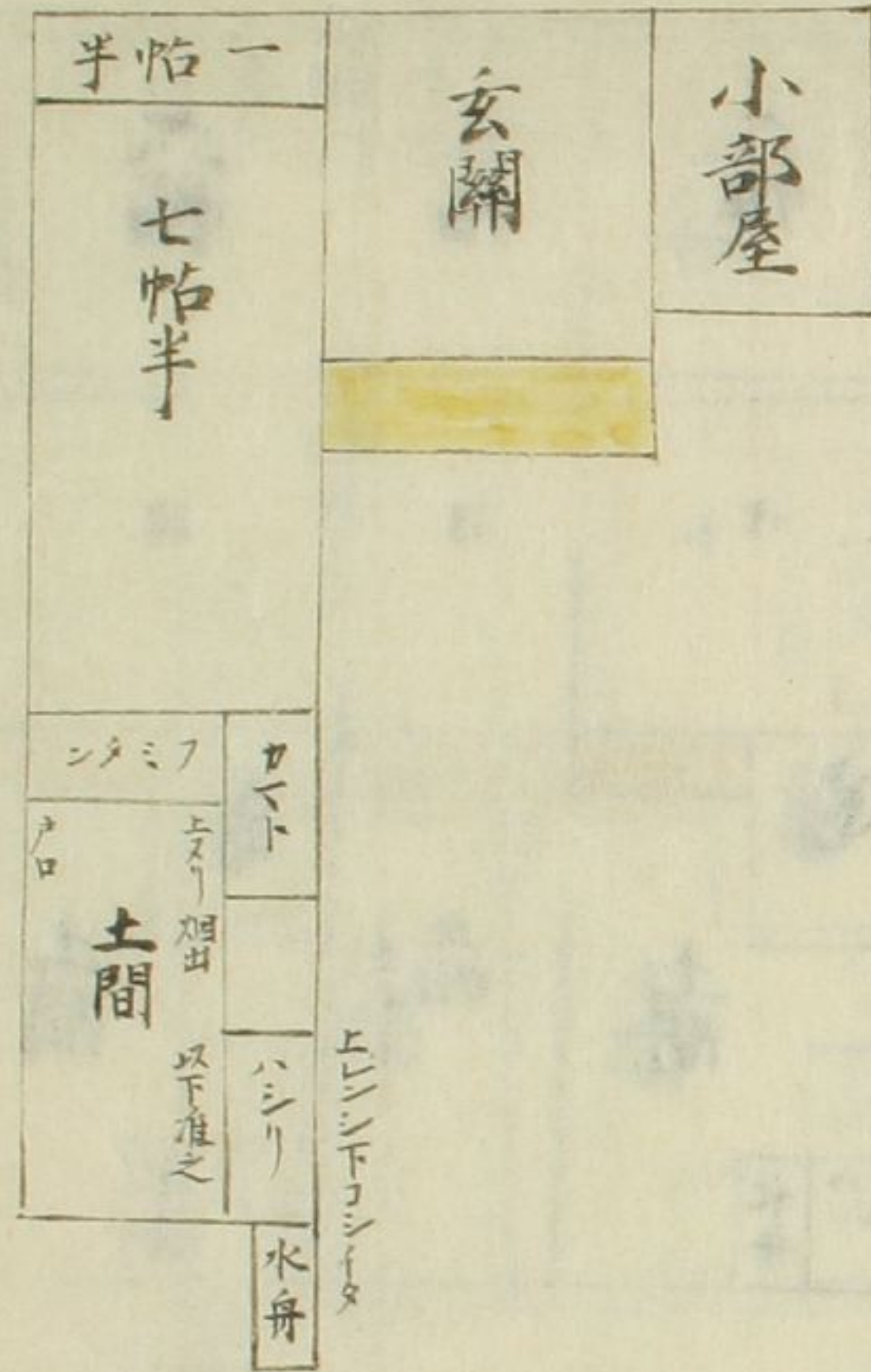
輿部屋



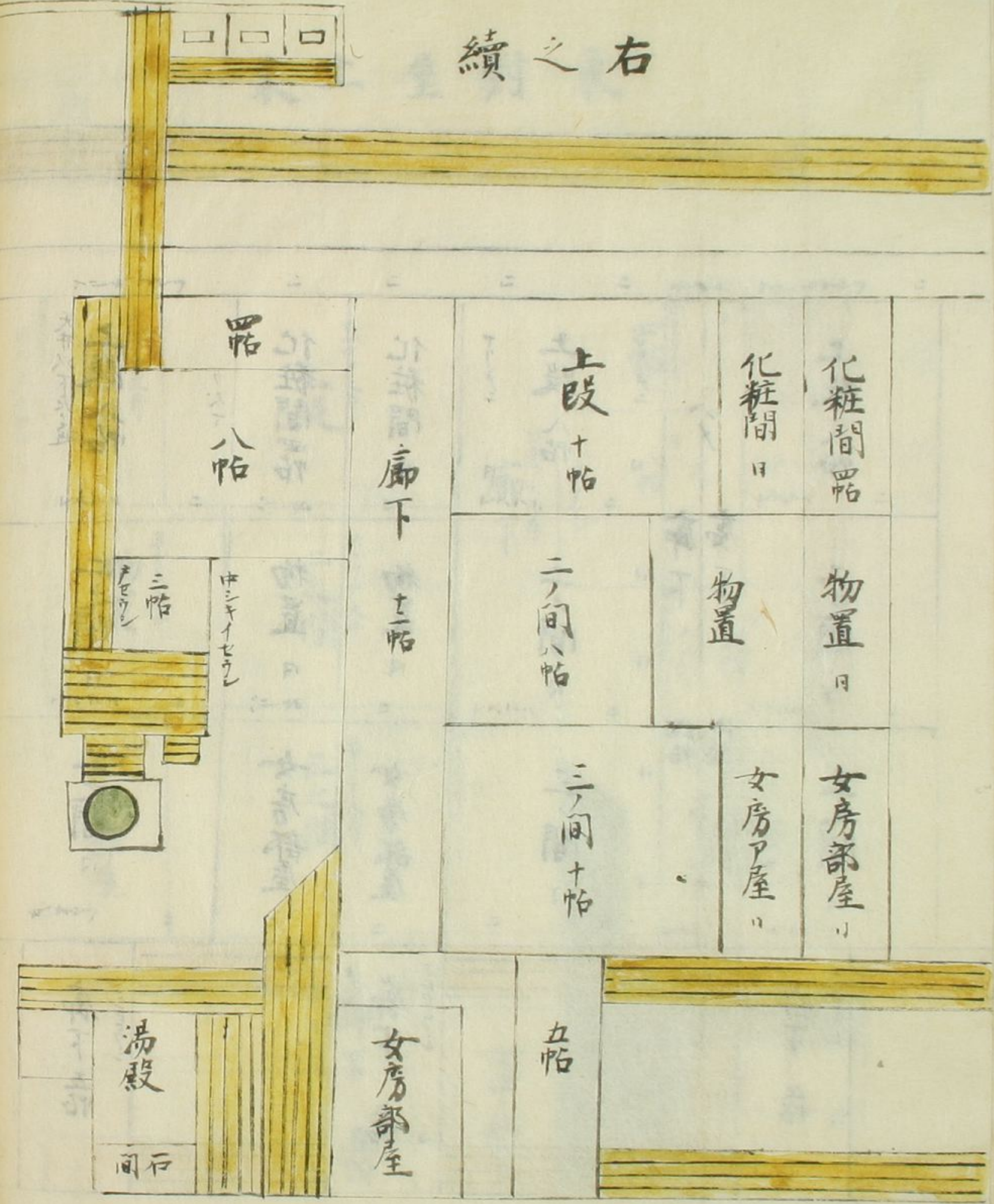
参内殿

半

同所下家



續之右



西門上

玄關	半帖一	六帖	三帖	ハリエ	六帖	
	七帖半			湯殿		日
竈		タミフ	タミフ	竈	間石	
	土間	土間	五帖	三帖	板間	土間
ハシリ				三帖	ハシリ	水舟

水舟



日	日	薪屋	土間	湯殿	土間	口	口	土間	床儿	湯殿	薪屋
---	---	----	----	----	----	---	---	----	----	----	----

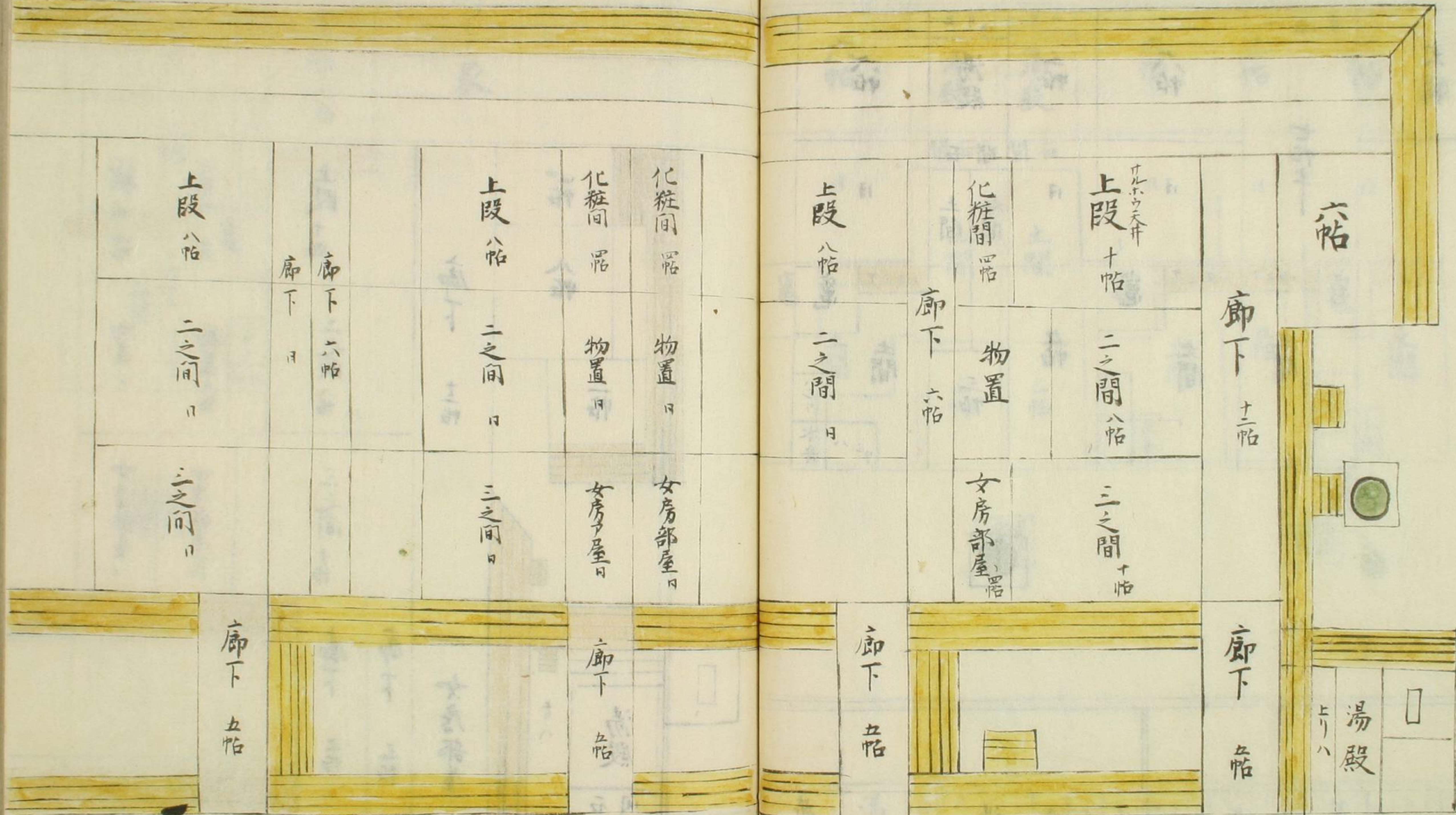
續之右

六帖	ハリエ	ハリエ	六帖	三帖	六帖		
	湯殿	湯殿				日	日
竈	間石	間石	土間	土間	日		
	土間	土間	二帖	二帖			
土間			竈	土間	五帖	竈	土間
			ハシリ	水舟		ハシリ	水舟

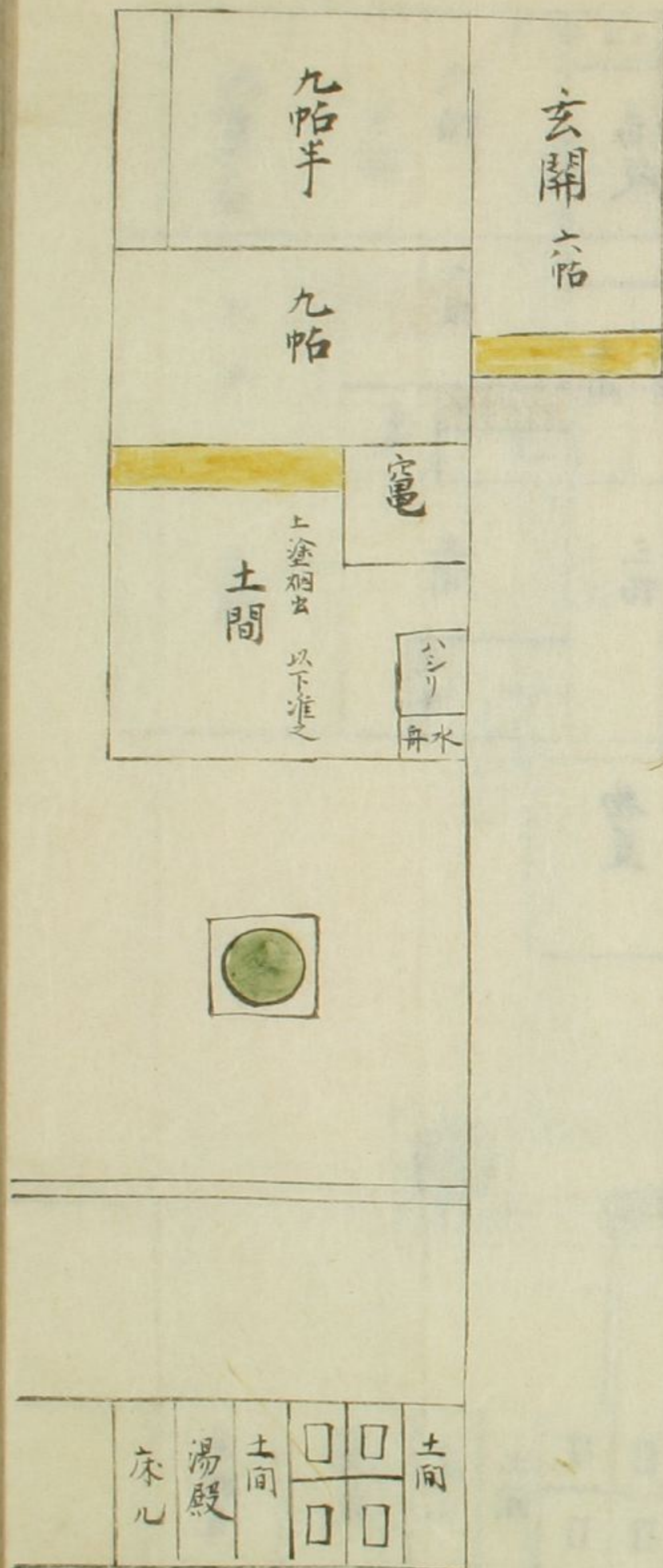


湯殿	床儿	土間	口	口	土間	床儿	湯殿	日	日	薪屋	床儿	湯殿	土間	口	口
----	----	----	---	---	----	----	----	---	---	----	----	----	----	---	---

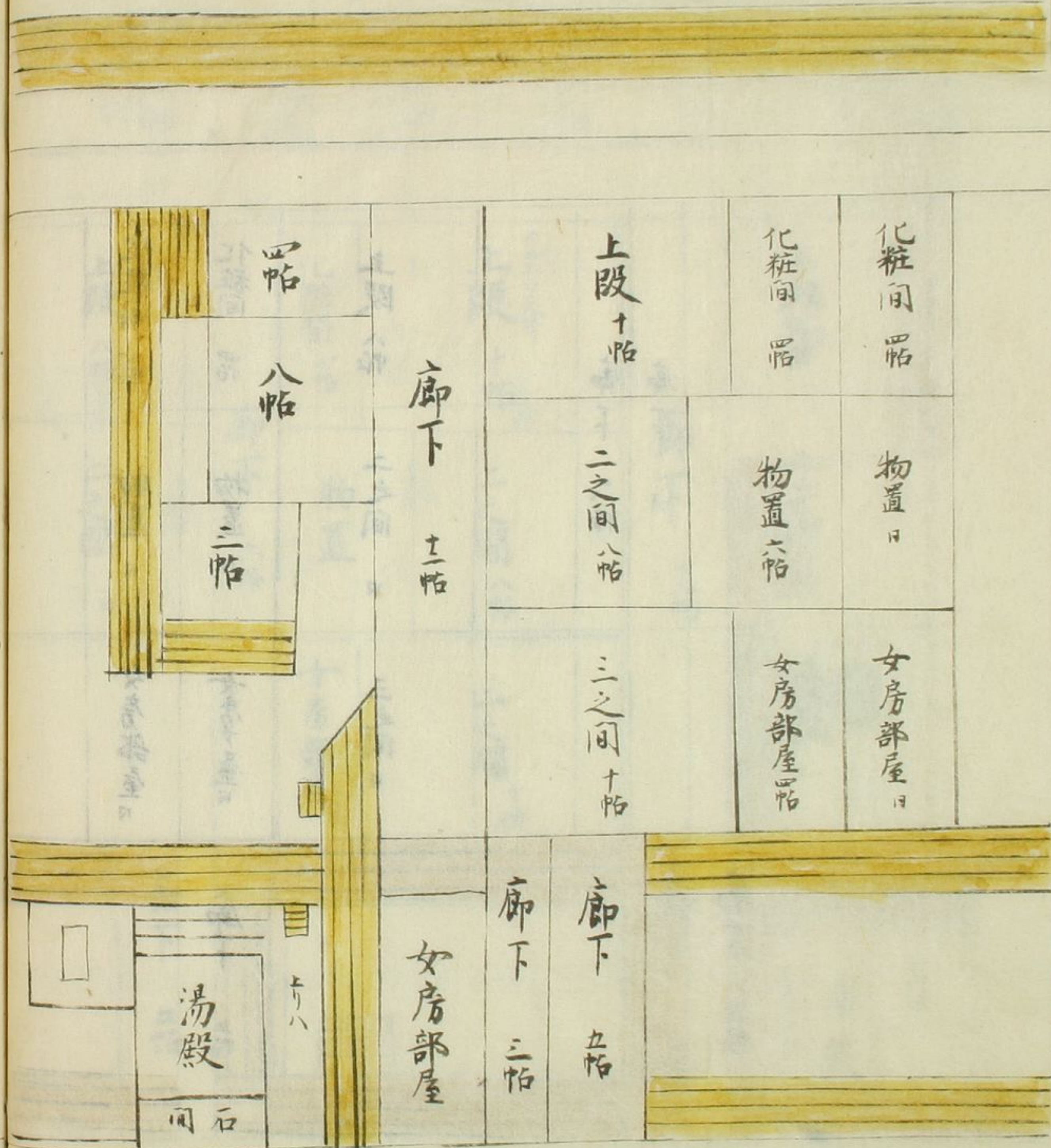
西對之屋上家



同所下家



學 續 之 右



清涼殿

昆明池御障子

年中行事御障子縮張寸法如昆明池

表昆明池園裏小鷹狩画

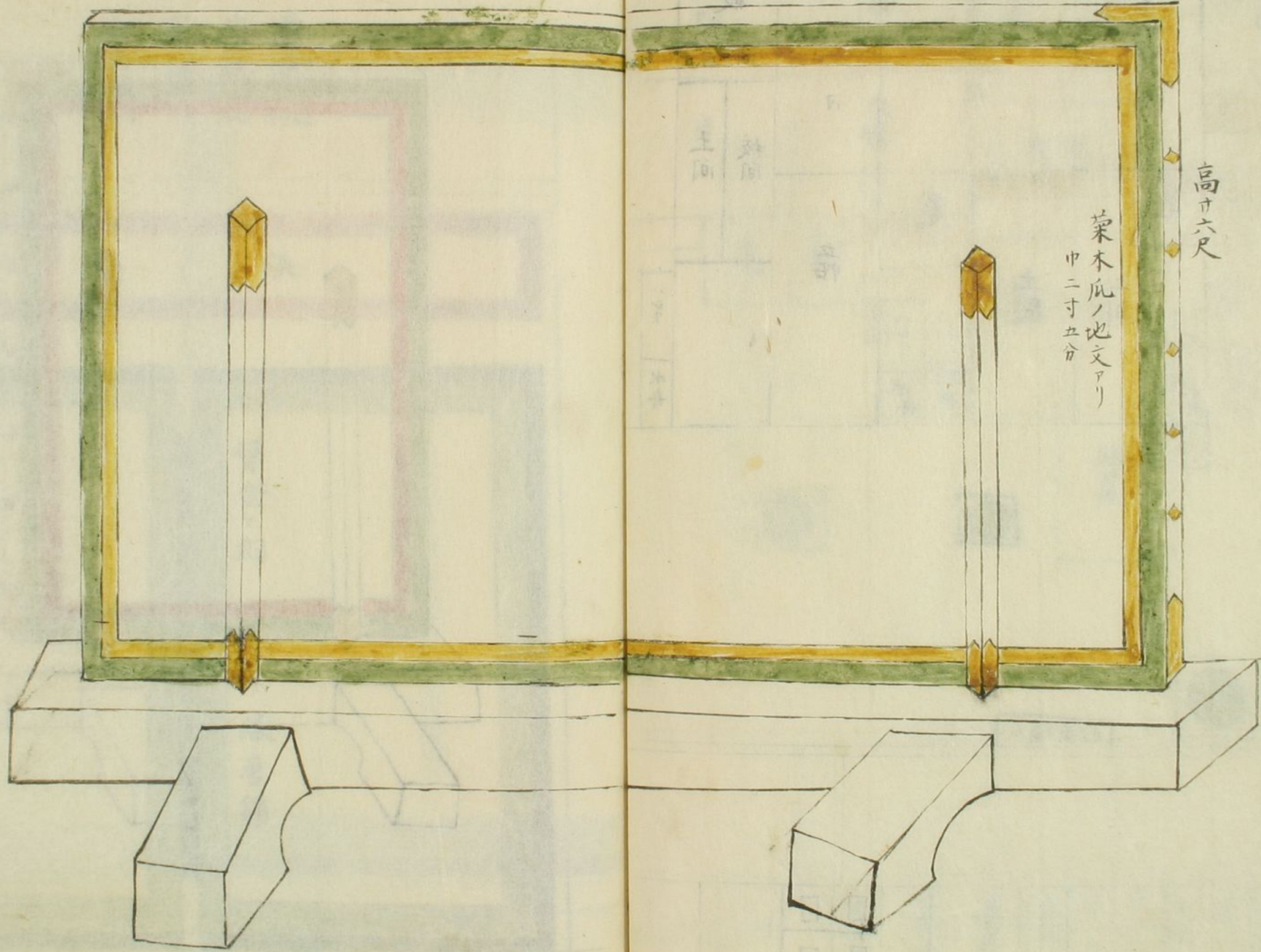
框臺足共黒漆

縁軟錦
金物金銅

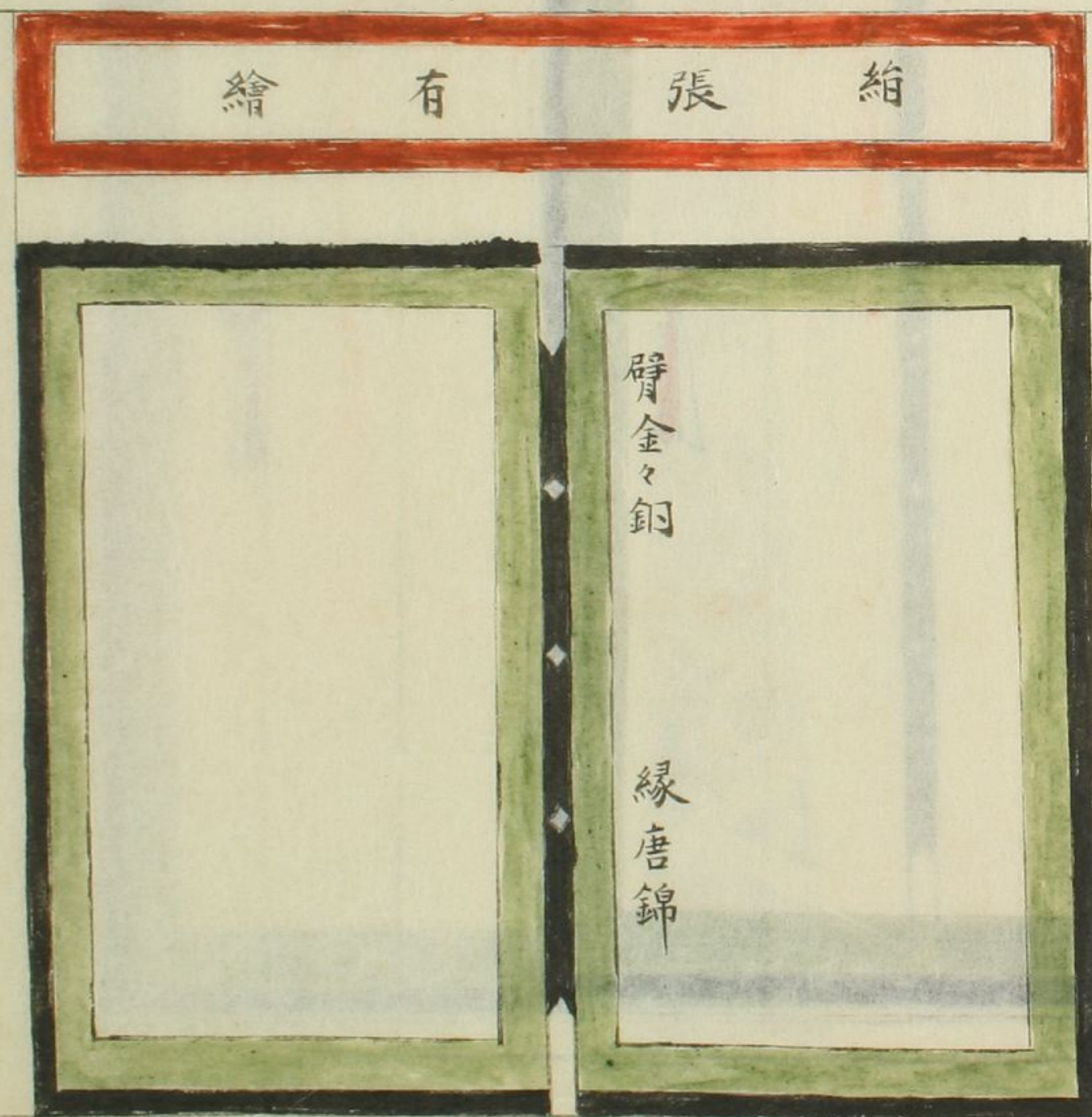
高廿六尺

棠木瓜ノ地文アリ
巾二寸五分

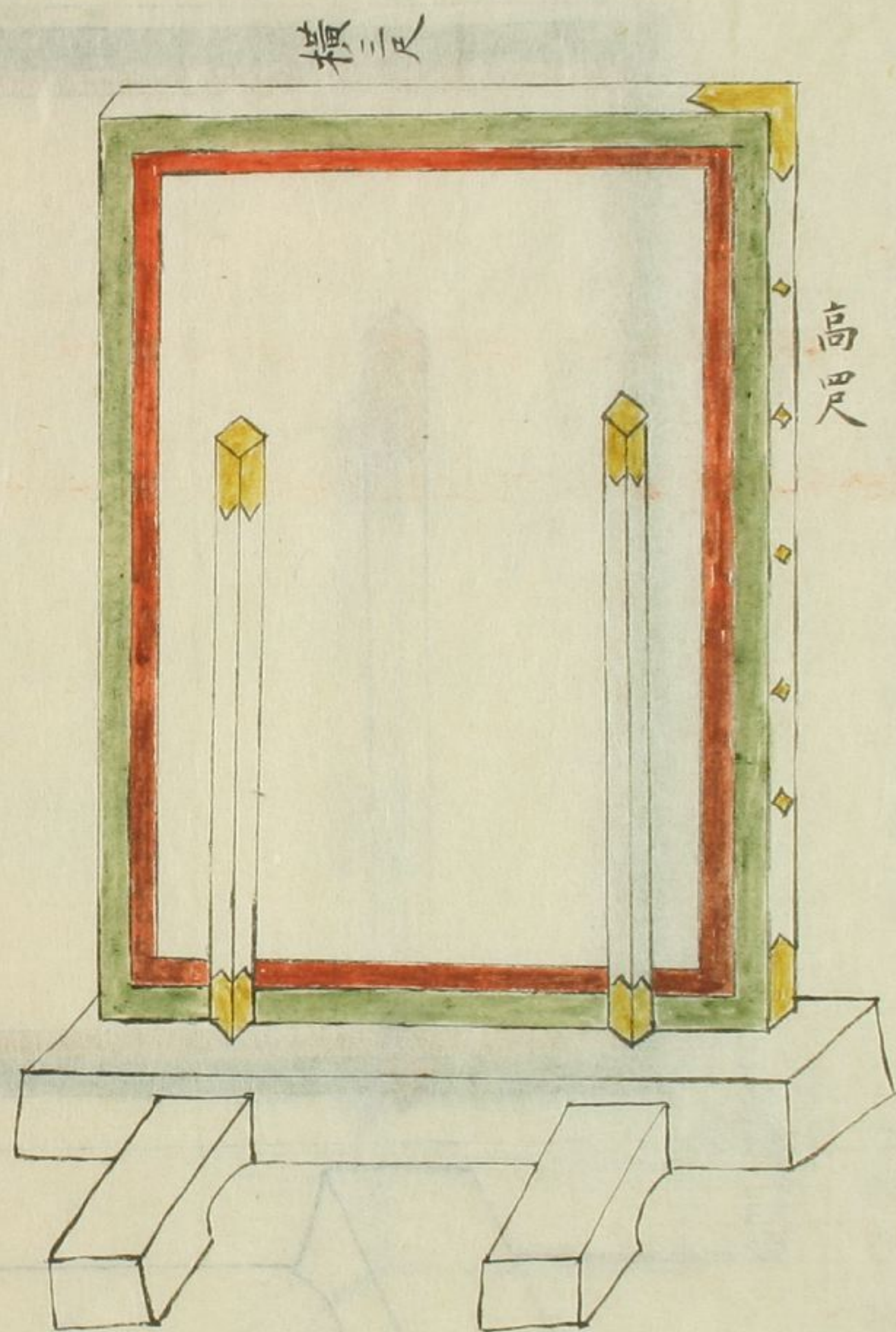
横九尺



清凉殿
 縮襖圖
 有繪
 押色紙形

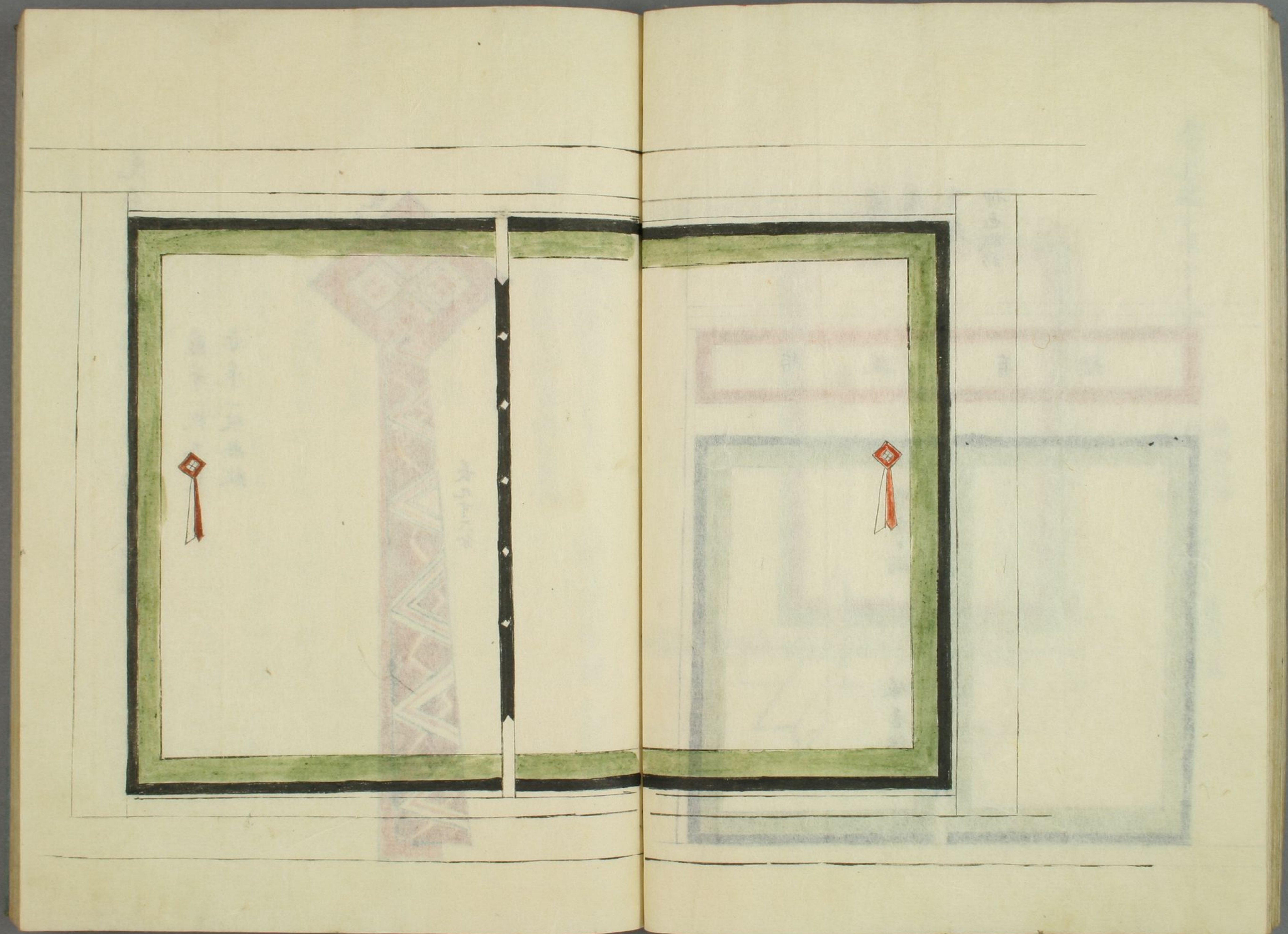


清凉殿小障子十分一之圖



縮張表猫
 縁軟錦如昆明池
 金物金釘

裏竹
 縁墨足共黒漆



内裏御造營御用掛

中山前大納言 議奏 愛親卿

勸修寺大納言 經途卿

日野中納言 資矩卿

大原三位 重子卿

勢田大判吏 承次

市野伴之進 勘使

岡田權大夫 修理職

高橋監物

廣橋前大納言 伊光卿

堤前宰相 榮長卿

豊田中務大輔 和資朝臣

土山冷路守

松宮主水

仙洞御所御造營御用掛

叢中納言 保季卿

六條宰相中將 有庸卿

修理職奉行

西洞院三位 信庸卿

外山勘解由次官 光實朝臣

渡邊河内守 御承次

伊知地主水 修理職

岡本造酒 日常加勢

樋口彈正大弼 宜康卿

出麻三河守

山田兵部尉

女院御所御造營御用掛

甘露寺中納言 議奏 葛長卿

高丘二位 修理職奉行 紹季卿

大原前中納言 御肝煎 重度卿

中山中納言 非常附

廣瀨石見守 御承次

四條三位 隆師卿

庄林臺岐守

勘定

水口右近將曹

禁裡修理職

松宮 主水

俗理職

岡本 主馬

五十川東馬

禁裡御所方御造營御用掛

御老中

松平越中守

御勘定奉行

久世丹後守

日組頭

藤木甚捕

平岩次郎兵衛

福嶋又四郎

御勘定奉行

柳生主膳正

御作支奉行

安藤越前守

町奉行

池田筑後守

右江戶町奉行持後京町奉行

菅沼下野守

御勘定吟味役

村垣左太夫

日組頭

鈴木門三郎

御勘定

浦野新九郎

服部又三郎

加藤左近

勝 興八郎

村田平八

京御代官

高橋八郎右門

京御代官

小堀 縫 殿

江戶御作支

中井藤三郎

竹内半十郎

橋本忠右門

中寫興九郎

所司代

川島藤 八

太田備中守組頭

小菅忠右衛門

戸田伊兵衛

町奉行
池田筑後守組與力

西尾新太郎

妻木市之進

町奉行
井上義濃守組與力

真野八郎兵衛

御前武家
水原摂律守組與力

梶川兵右衛門

日
建部大和守組與力

若松權之進

御徒定飯役
阿久沢平次郎

御普請取手
依久間源九郎

松島只五郎

真野嘉右門

田中七右門

入江吉兵衛

山田義平次

村田祿之丞

川島藤八

御普請役

立田安野右門

山田鉄五郎

仲田藤太郎

御作事助定
荻野大八

日
青木團七

日
飯村次郎吉

日
宇佐義善五郎

山田忠次郎

太田備中守組同心

石田伴右門

小野喜十郎

池田筑後守組同心

落合文五郎

田村七郎次

岡野龍四郎

中村鑓四郎

長島平五郎

池永源次郎

岡本勇 卯

大野兵右門

佐々木為左門

中川 奎 左門

藤井 源之進

中川 定右 左門

中尾 彦兵衛

平尾 安兵衛 右工門

木間 多安兵衛

田村 此右 工門

榊橋 熊次郎

井上 美濃守 組同心

淺賀 平兵衛

中江 興左 工門

芝 八郎 助

廣石 十左 工門

恒川 惣兵衛

吉田 藤左 郎

水原 振律守 組同心

清水 喜八郎

井上 貞次郎

川島 喜左 門

建部 大和守 組同心

鳥井 要助

赤城 十四郎

荒木 勝四郎

山田 吉太郎

飛田 幸八

横井 儀左門

細川 吉藏

原田 太左門

小田 孫太郎

大村 文九郎

塚原 又助

森服 源左門

多文 茂左門

藤田 半九郎

新谷 武左門

和田 喜藤太

武富 東市

湯口 唯五郎

大浦 直左門

石丸 讚收

池上 五郎 右門

辨慶 仁右門

江戸大棟梁
御扶持人棟梁

矢倉直之丞

町棟梁 兎玉新八

天野清兵衛

京頭棟梁 角井隱岐椽

正嶋上野椽

乾 長門椽

山本近江椽

石井出雲椽

今村七郎次

角井依左郎

今村喜右門

長谷川為藏

小森九兵衛

今村土佐椽

角井志摩椽

坪内若狭椽

塚本石見椽

西村八太夫

福本茂右門

山本善藏

大東次郎右門

御普請御用場勤番詰

和列郡山 松平甲斐守家來

番頭

物頭

大目付

十人組

足輕

馬廻中小性徒目付之類猶在

城列淀

稻葉丹後守家來

右目断

江州膳所 本多隱岐守家來

右目断

丹列 笹山
青山下野守家來

右同斷

寛政元年 巳酉二月下旬より始

大工箇所割

紫宸殿	田造組	外様御番所	御拜廊下	四條組
内侍所	平松組	御取次御下御列	御物置	大佛組
清凉殿	木子組	内侍所勝手四	刀自部屋	亀屋組
常御殿	岩井組	紫宸殿内侍所	廊下共外結廊下向	北山組
小御所	建仁寺組	御涼所		知恩院組
御車舎共				

兼明門
日花門
月花門
左右陣屋廻

萩野組

清凉殿
外様小番所
非藏人部屋物置

一之橋組

御車寄
非藏人部屋
公所部屋

寄合組

東西向對屋
御臺所清所
御取次所
板本吟味役部屋

大坂
止三組

園爐裏所
鍵番所
向公之間

御木組

女婦部屋
御表部屋

大坂
天満組

申ノ口女婦詰所
男居

東福寺組

御使番
御取次所

大律組

御詰廻
傳奏部屋
御車舎

柙田組

申口北廊下
女中重徳
長橋參寄部屋

八幡組

泰内殿
長橋月
葵者所

神尾組

御物仕部屋

塙組

取次部屋
御取次所
對屋中門

新掌組

御使番部屋
仕丁部屋
堀中門
寄合組
甚兵衛
久至門

平唐門
唐門番所
御車寄前板腰掛
投別
兵庫組
尼崎組

伶人樂屋
樂器藏
參内殿前中門
田舎組

兵服藏
御茶藏
同

松平越中守殿より柳生主膳正へ被遣趣酉三月十六日

七分増
銀二千貫目
木一千石
七十貫目割増
七十石割増

御褒養一萬五千兩
右大工及諸職人

從
御所被仰出候趣所司太田備中守殿御用掛役人中へ被通達
新造

内裡御造營諸夏町寧奇麗早御造畢御用掛面々出精之段
聞召 御機嫌之御車候

右之趣両卿より被申趣候より相達候以上

禁裡御所
戊八月廿六日御上棟
土月廿二日遷幸
九月十六日安鎮御祈七々日阿闍梨
天台座主妙法院高尊行法親王

仙洞御所
戊九月五日御上棟
土月廿六日遷幸
安鎮十月十一日より右同斷

女院御所
戊九月廿日御上棟
三月四日遷幸
安鎮十月廿六日より右同

ふらふらと春の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

春日祈

以高恭卿

春の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

高恭卿

春日の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

初瀬里

日

初瀬の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

美仁親王

初瀬の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

吉野山

日

吉野の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

光祖卿

吉野の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

清瀛河

以推威卿

清瀛の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

敏仁親王

清瀛の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

伊見里

題日

伊見の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

資枝卿

伊見の風をうらやまふ鳥たちと之常盤の杜の柳は

廣澤池

歌日

あけつる江のほとり高き山ありて
こぼれ廣くを月丁々たる

為別朝臣

小秋の昔をありて廣澤の月をこぼれ

神山

題日

こぼれつる換りて本澤よ

かこむる井らん中。

典仁親王

神の本澤にほりて高き山ありて

廣澤野

歌日

秋草の山ありて高き山ありて
社ありて小倉野ありて

池明昆

雅威卿

障子北

こぼれつる山ありて高き山ありて

宇治川

題日

あけつる山ありて高き山ありて

光祖卿

荒海障子

紅葉の山ありて高き山ありて

信楽山

題日

山ありて高き山ありて

山ありて高き山ありて

藤壺

典仁親王

むしつる山ありて高き山ありて

志賀浦

子障日

波のたぎる

持貴卿

松島やうらの海は雲をたて波をたてて

宇津の山 歌日

あけの海をうらふとみよの松もあはれ

たのむ小若もせしむる

織仁親王

所登 臺

うづのふたを緑のまら松もた秋のうらみの下ら

甲子浦 歌日

うづのふたを緑のまら松もた秋のうらみの下ら

雅威卿

お波のたぎる

浮橋水 歌日

あけの海をうらふとみよの松もあはれ

たのむ小若もせしむる

持貴卿

お波のたぎる

富士山 歌日

あけの海をうらふとみよの松もあはれ

高章卿

あけの海をうらふとみよの松もあはれ

二保浦 歌日

布 子

有代河坂

まひ人の
うさのくさくら

資枝卿

有代河坂の法政もまろくくさくら旅人

歌人

閑院一品太宰師典仁親王
 有柄川中務卿織仁親王
 閑院彈正尹義仁親王
 日野前藤大納言資枝卿
 鳥丸前大納言光祖卿
 冷泉民部卿為泰卿
 冷泉中納言為章卿
 芝山前宰相持豊卿
 飛鳥井右衛門督雅威卿
 冷泉侍從為則朝臣

筆者

昔蓮院尊真法親王
 大炊御門前内大臣家孝公

東廂南面

鳥居障子一間極彩色各画之上色紙形有
鳥居障子之上小壁張付各縮緋青引極彩色本文之通

同

夜御殿

東西間一之間西面縮白張

日

二之間

三之間

縮緋青引極彩色
画大和画

弘微殿

日

萩戸 四間

東西北方日南方西東北方日南方

日

藤壺 四間

東西北方日南方西東北方日南方

土佐左近將監

鬼間

布障子同上極彩色

東西南北方日南方

北布障子南面

大和画
南壁画

同

基盤所

五間 中一間布障子

同

縮緋青引極彩色
縮張緋青引極彩色
東西南北之間日中之間日南之間北南面

朝餉間御手水間

同

西間

中布障子
漆障子一間

一間縮張

南北面
東面
緋青引極彩色

大和画

北布障子南面

布張
墨画

土佐左近將監

画名所

障子縮張緋青引

北之間 二間

日

同上中布障子一間
画名所

南布障子北面

布張
墨画

土佐虎若丸

画名所

已上縮障子布障子正有彩色紙形

弘箱北荒海障子

布張
墨画

土佐土佐守

画名所

西面有彩色紙形

昆明池障子

絹張縁軟錦極彩色
画 表昆明池之園
裏 峽城野小鷹鳥狩
画 上面有彩色紙形絹張

同

小障子 仕立月上

画 表 猫
裏 竹雀

土佐左近將監

年中行支障子

画 年中行車
絹張縁軟錦

十二帖間總金

画 東方湖
西玉母

狩野藏之進

内侍所

十帖間 日

画 芦鶴

座田左京大属

上段

画 克任賢國治

仕立月上

日

常御殿 中段

画 大島戒酒防微

仕立月上

鶴沢式部

下段

画 高宗論長衡

仕立月上

狩野藏之進

叙奎御間

画 四季花鳥
絹張御床張付
綿花鳥

鶴沢探索

御小襖

上段 四枚 画 春夏秋冬花鳥
下段 四枚 画 秋冬花鳥

御寢間

直四季 山水 絹張南方御小襖
雲取砂子泥引中彩色
上四枚 画 八代集卷頭
下四枚 砂子泥引
和歌之心

石田遊汀守善

北

上四枚
下四枚
画六歌仙和歌之心

一間

画
獨有宦道人偏驚物候新
雲霞出海曙梅柳渡江春
淑氣催黃鳥晴光轉綠蘋
忽聞秋古調歸思欲治中
右詩之心

御床張付

画松竹

御袋棚張付

絹張群青引極彩色

二間 同上

林唐沉舟蟲響菽燈萬影
皆同月共聲各為秋菜芽
空復晚卿思不堪愁西北
浮雲什畔川何
右詩之心

三間

画四季海道

薄彩色

清御間

画住吉之景

中彩色

御小襖

画 上二枚 春野雲雀
下二枚 秋野鶉

砂子泥引

次間

画四季草花

中彩色

申口

画松牡丹 二十四帖之間

薄彩色

同

画竹菊

同

御小座敷

上御間 墨繪
画梁苑雪

御床張付

画 同上

御違棚張付

画 同上

圓山主水應舉

島田主計頭

同山右近應瑞

吉田大炊

杉山元春

江村春甫

恒枝專藏

應舉

御小襖 絹張
画 上四枚 小鳥
下四枚 鷄

下間 日上
画 度樓月

落長押間
画 梅

杉戸 東御椽坐鋪南方
画 南面散手 貴徳
北面 枝頭 還城樂

同
画 南面 車胤
北面 係康

同 南廂 東方
画 西 海棠 瑠璃鳥
東 木芙蓉 翠翠

同
画 東 裁安道
西 歸去來之辭

同 北 椽坐鋪
画 東 竹鶴
西 紅葉鹿

同 西 椽坐鋪
画 北 南 東 破
山 谷

同 中仕切
画 北 而 柳山 鴨
芍 菜 白 鴨

同 南方
画 南 芦山 鳥
北 桃 林 牛

上御間
御床 御違棚
御付書院躰込張

所
小壁 春夏山
墨画 付立泥引
画 春夏花鳥

次御間

岸雅樂之助

中村平左衛門

依久間草履

佐野龍雲

田中訥言

奥源次郎

谷川元庸

笹川遊泉

狩野内通

山本右近

長澤芦雪

駒井幸之助

画 歎冬 花鳥
小壁 秋冬山

墨画付立泥引

裏御間

御床張付
画 春夏草花
小壁 蝶

原在中

次御間

画 秋冬草花
小壁 蜻蛉

秀 雪亭

取合御間

画 竹
小壁 雀

奥 源次郎

御 湯殿

上段

画 桐

中彩色

狩野正榮

御 黒戸

上段

画 蓮

日蹴込牡丹獅子

木村了琢

參上段

琴暮書画

吉田元陳

日中段

高山四皓

勝山琢眼

殿下段

九老

以上彩色薄砂子

狩野縫殿之助

杉戸西椽坐鋪北之方

笹井源太郎

画 南 善王
北 張寔

中彩色

東御椽坐鋪南之方

富置立德

画 南 花菖
北 梅音味

同北方

吉城元凌

画 南 常盤木猿候
北 雪竹

對之屋廊下北行當

鶴飼大之進

画 南 若松
北 若竹

二筋廊下西行當南之方

大村豊泉

画 東 雪ノ南天
西 秋野卧猪

同北之方

画 柏鷺
紅葉百舌鳥

上之間

画 櫻 雉子
床張付 蓮棚張付
小襖画 花 鳴鷺
水 棲蛙

薄彩色

長橋局

二之間

画 紅葉 小鳥

三之間

画 雪中鷹狩
画 東論列女傳

日

東對之屋

- 一 上段
- 二 上段
- 三 上段
- 四 上段
- 五 上段

大岡春山
山田索隱
鳴田内通權助
恒枝專藏
堀 索道
山田主計
橋本佐内
勝山因書
推田榮雲

西對之屋

- 一 上段
- 二 上段
- 三 上段
- 四 上段
- 五 上段

杉戸東對之屋廊下東方

画 北列女傳

墨画

佐野龍雲

吉村周圭
勝山圖書
江村主稅
竹内由右衛門
鶴飼大之進
眼了一榮

同月所廊下西方

画 南列女傳

墨画

木嶋元常

同從清凉殿小御所追廊下

画 南梅 鳴鷺
北柳 鷺

同日所中仕切東方

画 東松
西鶴

渡邊周藏

西尾元精

同日所南方

画北南牧馬

同從清凉殿西廊下北行當

画北南牡丹

同御車寄

画北南唐子遊

林長洲

川崑頼母

伊庭内膳

仙洞御所

御繪様

弘上段

土佐土佐守

御中段

同將監

所名所

縁軟錦

緋青引
極彩色

朝餉間

臺盤所

狩野縫殿之助

東廂
錦花鳥

縁軟錦

小御上段

五嶽圖

惣雲取砂子
泥引極彩色
同上

鶴沢探索
日式部

常上段

御中段

殿下段

御賀喜圖

惣雲取砂子
泥引極彩色

吉田元陳
勝山環眼
狩野正榮

下段中之間

催鳥樂之心
席田伊勢海

白張薄彩色

佐久間草偃

夜御殿

水鳥

惣雲取砂子
泥引極彩色

鳥田主計頭

御小書院

一之間

御床張付
御袋棚小襖

花尾長鳥
花蝶

土佐虎若丸

科作園

唐画春夏

惣雲取砂子
泥引極彩色

同山主水

二之間

同秋冬

仕立同上

白

北一之間

御床張付春紫

泥引白張
薄彩色

堀 索道

同二之間

夏艸木

山田索隱

同三之間

秋艸木

狩野宗三

同四之間

冬艸木

北畠洞月

小四方間 大和画女工圖

白張
薄彩色

狩野藏之進

申口

濱松千鳥

石田遊汀

御黒戸

蓮

雲箔中彩色

木村了琢

一對屋

違棚小襖

花鳥

三谷逸記

杉戸

小御所東廂北西方
東表 迎凌頻
裏 春野

狩野縫殿之助

同

日殿東廂南西方
東表 胡蝶
裏 秋野

吉田元陳

同

日殿東廂北方
南表 牡丹
裏 同

狩野藏之進

同

同殿北廂西方
東表 夏野
裏 同

大村豊泉

同

日殿南廂西方
東表 冬野
裏 風凰

桃田榮春

同

日殿西廂北方
南表 唐子遊
裏 往山鳥

勝山琢眼

同 殿西廂南方
北表 唐子遊
裏 芦鶴

大園春山

同 自弘御所小御所取合廊下中柱
北表 老松
裏 鳴門

大罌金吾

同 常御殿御小書院東御椽坐鋪北方
南表 公衛朝臣交野哥之心
裏 松藤

吉田大炊

同 同殿御上段南御椽坐鋪東方
西表 桃源園
裏 田子浦

吉田周圭

同 同殿御椽坐鋪北西方
東表 王貨觀暮園
裏 山吹流水

富左近將監

同 同殿御下段御椽坐鋪南西方
東表 柏鷹
裏 藻鯉

江村春甫

同 同殿御椽坐鋪北西方
東表 射鷄
裏 花車

杉山元春

同 同殿北御椽坐鋪中柱北方
南表 木芙蓉
裏 養老瀧

原 在中

同 同殿御椽坐鋪西方
南表 野馬
裏 杜聖

山脇圖書

同 車寄廊下北東方
西表 唐松孔雀
裏 栗猿

森 周峯

同 竹間弘廂西方
南表 巖虎
裏 芦雁

同山右近應瑞

繪欄間 小御所東廂西方
波

同 同北西方
雲

同 常御殿御上段南御椽坐鋪東方
梅月

同

日殿御椽坐鋪西方
紅葉淹

賢聖障子名臣冠服考證上

東弟一間

馬周

依粉本舊圖

官階

中書令三品

年貌

表天網曰馬君伏犀貫腦背若有負貴
驗也然面澤赤而耳垂根岑文本曰鷲
肩火色騰上必速年四十八

章服

烏紗幘頭 綠紗四袂衫 金玉帶
烏皮靴 金魚袋 執笏

右謂之公服又曰從省服五品以上從公車
服也車物紀原曰中國衣服自北齊以來全
用胡服窄袖綴綠唐武德奧觀時猶爾古今
注曰貞觀二年三品以上金為錢服綠周又
嘗上議而論深衣及缺袴四袂之事則此圖

綠色四揆衫與說合矣其金魚金玉帶則固
三品之章矣又隋志大唐新詔有公服用靴
以代屨使於軍旅之說則隋唐公服不用履
也

房玄齡

官階 尚書左僕射三品

年貌 相者曰龍目鳳睛位及公卿 年七十

章服 進賢三梁冠 皂紗袍 青綬金魚袋

右舊圖半面以上斷裂其冠不可識也以其
垂青綬而佩金魚今定為三品朝服而為補
進賢三梁冠其衣下至跗連上下四起施綠
則蓋袍矣北齊以來百官士庶同服袍唐初
不在軍者服長袍云但玄齡位二品則宜紫
或錄而今服皂足可疑也唐而服制未定尚
從北齊之俗朱紫玄黃各從所好者欽魚袋

左右各一左者進內此圖是也右者隋身馬
圖是也

杜如晦

官階 尚書右僕射二品

年貌 四十六

章服 烏紗幘頭 皂紗欄衫 革帶 烏皮

靴佩印 執笏
右社赤僕射二品而皂服可疑也亦服制未
立從好者歟柙粉本草畧失傳也馬房所帶
方而金采則為與袋矣杜所帶其形圖垂蓋
印囊也舊圖無設色今以青飾之

魏徵

官階 門下侍中三品

年貌 狀貌不逾中人 年六十四

章服 烏紗幘頭 紫衫 革帶 烏皮靴佩

印及悅 樞芴

右據唐車服志貞觀四年以後制參照十八

學士圖

東第二間

諸葛亮 今考定新圖

官階 丞相武卿候

年貌 身尺八尺容貌甚偉 壽五十四

章服 進賢三梁冠 緣組纓 皂紗單衣

絳緣中衣 絳袴袂 白帶 方心曲

領綠淚綬

右丞相朝服也 三國騷擾服制無所聞為今
一依後漢志立圖按進賢以梁數別貴賤者
始見平帝元始五年歷東京六朝至千隋唐
皆沿之其纓各如其綬色其衣則馬端臨曰
東漢百官之服皆袍玄如浮注雖五時服至

曰皆服皂衣又獨斷曰公卿侍中而書衣皂

入朝者曰朝臣則後漢朝服專用皂矣又按

方心曲領隋志梁陳以後始載之然釋名粗

言其制則漢末已有之矣

遠瑗 依宋李公麟孔門弟子圖

官階 衛大夫

年貌 不詳

章服 玄冠 白布深衣 執竹簡

按原圖執書卷蓋書卷以絹帛者漢以後之
制矣周豈有此哉今易以竹簡

張良 今考定新圖

官階 留候

年貌 性多疾道引不食穀其貌如婦人女子

章服 黑幘 絳紗單衣 絳緣中衣 白帶

絳袴袂 紫綬 執笏 帶劍

右按西漢二百餘年服制未立其別貴賤者
唯以印綬而已其他章服史無所載今據漢
舊儀獨斷等書三五索之衣雖有五時迎氣
服各隨其方色然每時服之止三日其他常
服者蓋西京人則以絳若皂東都人則專以
皂而已其中衣襦袷以絳者東西京蓋同焉
其首服則雖冠有劉氏樊噲惠文等之名幘
有青緝霜赤等之別然其用各有辨焉貴賤
通帶服者蓋獨皂僧幘耳幘制本出緇布冠
須項及絳帕以一條帛包額澆項結之後施
顏題及屋至于文常又高其屋而續之耳儼
成首飾官民通服焉進賢以梁數別貴賤者
平帝前無聞也今定西漢人以皂幘絳衣立
圖其間用他五時色者亦丹青暫借以羨觀
爾

又按漢魏有佩雙印及金印銀印等之制其
說雖詳後志及三國晉梁之書然其為體今
不可知也不敢妄作

第五倫

官階

同空

今考定新圖

年貌

性質慤少文采不修威儀

壽八十餘

章服

進賢三梁冠

皂紗單衣

絳綠中衣

絳袴袷

白帶

紫綬

右按後漢至明帝初服疏冕祠天地定王公
卿士服制詳見輿服志今皆按之以立圖

東第三間

管夷吾

今考定新圖

官階

齊大夫

年貌

不詳

章服

皮弁

三王

朱紘

素衣

素裳

素鞞

白簪 佩水蒼玉純組綬 執笏
右謂之皮弁素積候國大夫以聘隣國及待
聘賓還王之服也君在屈結其佩之綬不使
有聲說詳禮經但其紘本當純組管仲僭朱
紘見于戴記故今朱之

鄧禹

宦階 大傳高密侯

年貌 年五十七

章服 進賢三梁冠五時服青衣 絳綠中衣

絳袴 紫綬 執笏

右據後漢志及漢舊儀獨斷等書立圖其青
衣者說見于張良下

公孫僑

宦階 鄭太夫

年貌 管子曰子產日角

今考定新圖

章服 玄冠純組纓 緇衣 素裳 素鞞

白屨佩水 蒼玉 純組纓

右司服所謂冠弁服者又謂之朝服候國卿
大夫朝君及祭於已等服也說詳禮經

蕭何

宦階 相國鄭候

年貌 年老恭謹

章服 長冠 絳紗單衣 皂綠領袖 絳綠

中衣 絳袴 白帶 綠綬 帶

劍

右長冠一名齊冠所謂劉氏冠也高祖微時
所冠後尊故之以為祭服云綠綬及固相國
之章也其他說詳于張良下

東弟四間

伊尹

今考定新圖

宦階 阿衡

年貌 荀子曰面無鬚縻晏子曰

章服 章甫冠 丹組纓 玄衣 素裳 丹

朱中衣 素鞞 白屨 佩山玄玉 朱

組 執笏

右段禮文獻不足周時既不可徵也郊特性

曰委貌周進也章甫殷道也孔子采人冠章

甫之冠則當時其制猶存而周人以與委貌

雜用焉今據禮家圖如覆杯者因配以玄衣

素裳而當之冠弁服冠弁服又謂之朝服周

制天子之卿從燕諸侯之服也雖殷亦或然

傳悅 今考定新圖

宦階 相

年貌 荀子身如植簪通雅曰謂執屨

章服 章甫冠 丹組纓 玄端 朱裳 丹

朱中衣 朱鞞 纁屨 佩山玄玉 朱組

纓

右周又與委貌通冠之玄端所謂端章甫願

為小相者矣今配以玄端殷之裳鞞立此圖

玄端服即書傳所謂端委也如晉侯端委以

入武官劉定公曰君端委以治民臨諸侯是

也

太公望 今考定新圖

宦階 大師齊侯

年貌 年益百有餘

章服 韋弁 鞞衣裳 丹朱中衣 朱鞞 纁

履負劍 搢笏

右司服所謂兵車韋弁服者王及諸侯卿大

夫君臣同服其佩玉則經傳無所見矣以軍

容不便而不設也

仲山甫

今考定新圖

官階

冢宰樊侯

年貌

令儀令色小心翼翼

章服

皮弁註朱紘 素衣 素裳 丹朱

中衣

素釋 白舄 佩山玄玉朱組

綬執圭

右所謂皮弁素積者天子與諸臣同服曰視

大朝之服也

以上東間十六名

賢聖障子名臣冠服考證下

西第一間

李勣

今考定新圖

官階

司空尚書左僕射

年貌

年八十六

章服

烏紗幞頭 紫衫 草帶 烏皮靴佩

印 執笏

右據唐書車服志參取十八學士圖

虞世南

依閣立本十八學士圖

官階

貌儒謹若不勝衣

年貌

弘文學士 年八十一

章服

烏紗幞頭 緋衣 草帶 烏皮靴

執笏 佩悅

右一依原圖以唐志及王世貞圖跋參訂

杜預

今考定新圖

官階 持節荆州都督二品

年貌 吳之知預病瘳憚其知計以甄繫狗頭

示之秋名瘳嬰也左頭嬰喉也 年六十二

章服 烏紗帽 青衣

右杜預宣指節都督二品章服三梁冠紫綬

今不用者案晉志漢表王公名士多委玉服

以幅巾為雅袁紹崔鈞之徒雖為將帥皆著

綠中魏武擬古皮弁載纁巾以為幅威和元

年制聽尚書八坐表即門下三省侍宦乘卓

白帽出入掖門則雖梁掖亦巾服從事矣由

此觀之晉人不著冠服為實錄今閱工義之

及獻之像其所戴者與晉志所書合焉是以

杜預張莘二圖全用其中服以見當時之風

尚也猶年祐像按年中行車圖則其冠彷彿

於進賢因據晉志具綬綾以存一代之制

張莘 今考定新圖

官階 司空廣武侯

年貌 少自修謹造次必以禮度多鬚好以

帛纒

章服 白帽 白綠衣

右張莘亦不用金紫章服說詳前條按帽又

名恰增韻云按頭使下曰恰蓋焯本似及弁

按其須使凹下也其項上岐者徐爰曰荀文

若中之行觸樹枝成岐謂之焉善因而弗改

是矣

西第二間

羊祐 訂補年中行車圖

官階 太傅

年貌 身尺七尺二寸 美鬚眉 年五十八

絳袴袂 白帶 方心曲領 紅翟綬

章服

進賢三梁冠 皂紗單衣 絳綠中衣 紫綬 端笏

右羊祐至倪寬八之見于年中行事畫卷賭射圖中但大不盈寸其詳不可知又年像半身以下蔽物不見今審定其冠為進賢三梁據晉志補綬紋絳魏晉以來用絳紗為之故字從杰按。晉制大傳當服絳而原圖皂衣者蓋以祐時輿服制未立且從漢魏制已又按晉志有荷紫契囊白筆等制其形不可詳也不敢臆作

楊雄

訂補年中行事圖

宦階

給事黃門侍郎六百石

年貌

祿位容貌不能動人 年七十一

章服

青纁 青紗單衣 絳綠中衣 絳袴 白帶 黑綬

陳寔

宦階

大丘長四百石

年貌

年八十四

章服

進賢一梁冠 皂紗單衣 絳綠中衣 絳袴 白帶 黃綬

右原圖全像司識皆依之

班固

訂補年中行事圖

宦階

蘭臺令史六百石

年貌

年六十一

章服

進賢兩梁冠 皂紗單衣 絳袴 白帶 黑綬 絳綠中衣

右原圖亦蔽而不見全像今以其冠彷彿青纁據後志足成衣裳以為東方迎氣之服按原圖纁顏塗綠綠纁則厨人服也蓋借以美彩繪已

右亦全像依原圖

西弟三間

桓榮

訂補年中行吏圖

官階

大常卿中二千石

年貌

被服儒衣温茶有蕊藉 年八十

章服

黑幘 皂紗單衣 絳綠中衣 絳袴

襪 白帶 青綬

右亦依原圖

鄒玄

訂補年中行吏圖

官階

徵為大司農以病乞還

年貌

身尺八尺秀眉明目容儀温偉 年七十四

章服

幅巾野服 黃裳

右原圖首服蔽物不見腰不垂綬下服又似非袴矣按史玄未嘗就宦何進設枝禮待玄玄不受朝服而以幅巾又其我子書曰吾雖

無絃冕之緒頗有讓爵之高然則圖中不著綬極得博文之意亦可見良工用意不苟也今補以幅巾黃裳以成其志焉

蘇武

官階

典屬圖二千石

年貌

留匈奴凡十九歲始以壯強出及還須

髮盡白

章服

黑幘 皂絳單衣 絳綠中衣 絳袴

襪 白帶

右亦頭面蔽物首服不可知今定為黑幘其無綬可疑按光祿大夫博士等宦不給印綬則典屬圖亦或不給也

輓寬

訂補年中行吏圖

官階

御史大夫

年貌

為人温良有廉知然懦於武

章服 黑幘 皂紗單衣 絳綠中衣 絳袴

右亦原圖物蔽首服今亦定為幘漢制朝服

皆帶劍亦以原圖不見楊蘇倪三圖並不取

忝

西第四間

董仲舒 今考定新圖

宦階 膠西王相真二千石

年貌 進退容上服禮不行 以壽終於家

章服 赤幘 五時服絳衣 絳綠中衣 絳

袴 袴 白帶 青綬 帶劍 執笏

右南方迎氣之服也據漢舊儀獨斷等

文翁 今考定新圖

宦階 蜀郡太守

年貌 不詳

章服 白幘 五時服白衣 絳綠中衣 絳

袴 袴 白帶 青綬 帶劍 執笏

右西方迎氣之服也

賈誼 今考定新圖

宦階 長沙王大傳

年貌 年十八以能誦詩書屬文稱於卿中年

三十三

章服 黑幘 五時服玄衣 絳綠中衣 絳

袴 袴 白帶 青綬 帶劍 端笏

右北方迎氣及齊之服也

叔孫通 今考定新圖

宦階 奉常中二千石

年貌 不詳

章服 長冠 楚制短衣 絳袴 帶劍

右叔孫通宜奉常中二千石章服也今以史

稱服短衣楚制立圖如此其冠亦長冠楚製也司馬彪云

以上西間十六名

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

右臣謹按寬平中畫負神泉苑監巨勢金罔所畫賢聖障子各臣圖

歷朝寶愛離合設之是以屢免回祿至建曆中猶存須德帝朝承自士御殿置之閑院以其釘定不可

動似建長之火遂失處所矣旋又造內又粗竄改則障子圖既非舊也嗣後兵燹相踵禮文掃地雖其竄改者亦不可見已幸也傳馬周房玄齡杜如晦三圖彩本描法可觀章服皆令唐志假令非寬平之舊亦可依焉又年中行事書屏模本賭射圖內存年祐以下至倪寬八圖但圖大僅寸許他物又蔽虧其詳不可知焉然以意近而察之其梗槩亦不悖志說是亦可據也今此二本十有一圖並依舊圖不敢加私又就間立本十八學士圖李公麟孔門弟子圖內遠伯玉虞世南二圖其餘則本之六經傳注禮家圖說考之歷代

